

令和3年度 第1回
さいたま市インターネット市民意識調査
【調査報告書】

令和3年8月

さいたま市市長公室広聴課

インターネット市民意識調査 【調査報告書】

目次

1 調査企画とサンプル構成	1
2 調査結果	5
SC1. 居住地	7
【さいたま市のテレビ広報番組に関するアンケート】	8
Q1. さいたま市のテレビ広報番組について知っていたこと（複数回答）	8
Q1. さいたま市のテレビ広報番組について知っていたこと（複数回答）（経年比較）	9
Q2. 「のびのびシティさいたま市」の認知経路（複数回答）	10
Q3. 「のびのびシティさいたま市」の配信動画を見たいと思うか	12
Q4. 「のびのびシティさいたま市」の配信動画を見たいと思わない理由（複数回答）	13
Q5. 「のびのびシティさいたま市」で放送されたテーマの中で、見たいと思うもの（複数回答）	14
【さいたま市総合振興計画に関するアンケート】	15
Q6. 「さいたま市総合振興計画」の認知	15
Q7. 「2030 さいたま輝く未来と希望（ゆめ）のまちプラン」（さいたま市総合振興計画）が、令和3年4月から新たにスタートした計画であることを知っていたか	16
Q8. 「2030 さいたま輝く未来と希望（ゆめ）のまちプラン」（さいたま市総合振興計画）の認知経路（複数回答）	17
【民生委員・児童委員に関するアンケート】	18
Q9. 民生委員の認知	18
Q10. 民生委員のイメージ	19
Q11. 民生委員に相談したいと思うか	27
Q12. 民生委員に相談している、または今後相談してみたいと思う内容（複数回答）	28
【消防団に関するアンケート】	29
Q13. 消防団の認知	29
Q13. 消防団の認知（経年比較）	30
Q14. 消防団に期待する活動内容（複数回答）	31
Q15. 消防団に入団するとしたら気になること（複数回答）	32
【ベンチに関するアンケート】	33
Q16. どこにベンチがあると利用したいと思うか（複数回答）	33
Q17. どのような時にベンチを利用するか（複数回答）	34
【水道に関する手続き・問い合わせに関するアンケート】	35
Q18. 手続き・問い合わせをしたことがある方法（複数回答）	35
Q19. インターネットでできたら便利だと思うこと（複数回答）	36
Q20. 水道局が提供するスマートフォンアプリがあれば、利用したいと思うか	37
3 調査票（アンケート画面）	39

1 調査企画とサンプル構成

1-1 調査目的

市が事業を推進するにあたり、迅速に市民意識を把握することができるよう、インターネットを活用した市民意識調査を実施する。

1-2 調査地域

さいたま市

1-3 調査対象者

対象者条件：さいたま市在住の18歳～69歳の男女

18歳から69歳までの5年代層において、各年代の男女各100サンプル、合計1,000サンプルを対象とする。

1-4 有効回答数

無作為配信により、合計1,000サンプルを回収した。

(人)

	18～29歳	30代	40代	50代	60代	合計
男性	100	100	100	100	100	500
女性	100	100	100	100	100	500
合計	200	200	200	200	200	1,000

(参考) なお、各区の有効回収数は下表の通りである。

(人)

さいたま市	男性						女性						合計
	18～29歳	30代	40代	50代	60代	計	18～29歳	30代	40代	50代	60代	計	
西 区	8	6	10	12	7	43	7	6	7	2	1	23	66
北 区	9	14	16	11	11	61	11	15	8	17	11	62	123
大宮区	14	11	11	11	10	57	14	9	8	11	14	56	113
見沼区	4	12	10	11	7	44	8	16	12	11	14	61	105
中央区	8	7	7	11	6	39	8	9	7	12	8	44	83
桜 区	5	9	5	3	4	26	5	3	9	5	10	32	58
浦和区	12	20	15	14	26	87	11	17	16	9	12	65	152
南 区	20	11	13	16	15	75	15	12	13	15	10	65	140
緑 区	11	6	8	8	10	43	14	9	13	11	14	61	104
岩槻区	9	4	5	3	4	25	7	4	7	7	6	31	56
合 計	100	100	100	100	100	500	100	100	100	100	100	500	1,000

1-5 調査方法

インターネット調査（調査会社の登録モニターによるWEB調査）

1-6 実施時期

令和3年7月2日（金）～7月7日（水）

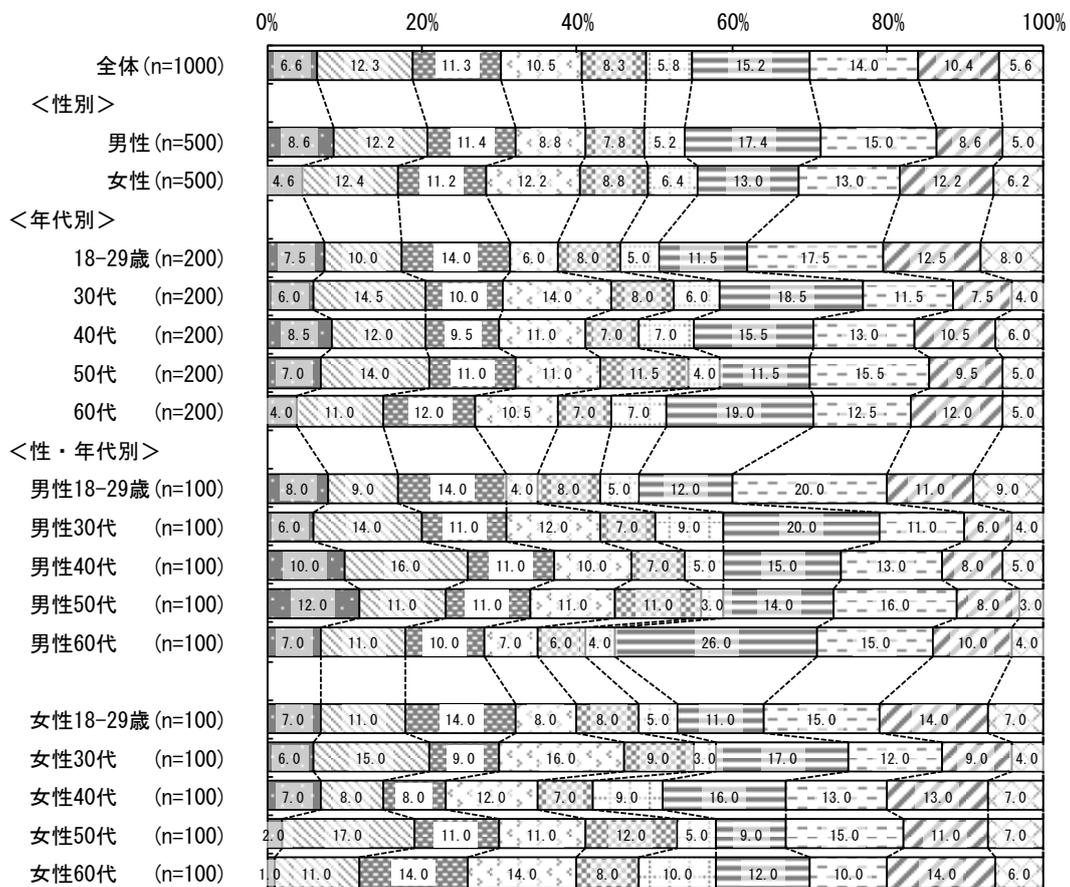
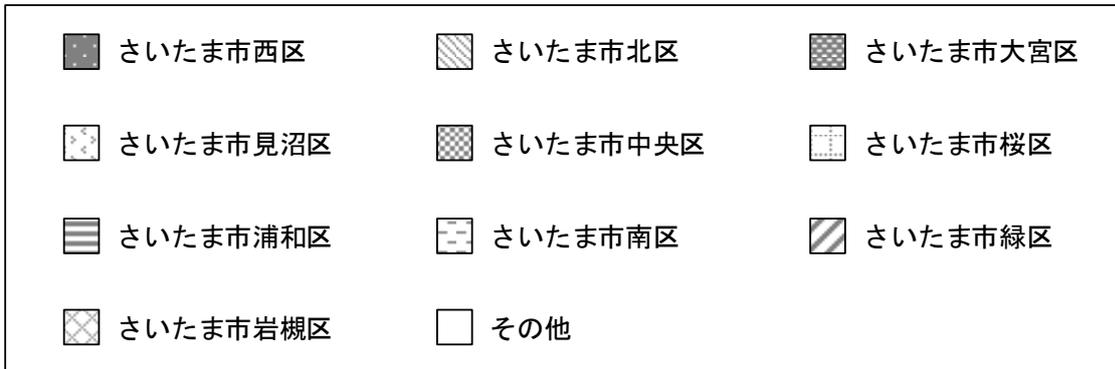
1-7 調査実施機関

株式会社CCNグループ

2 調査結果

SC1. 居住地

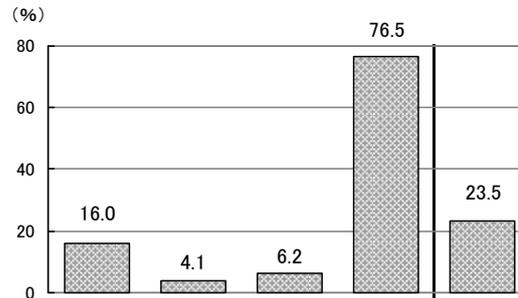
あなたのお住まいをお答えください。



【さいたま市のテレビ広報番組に関するアンケート】

Q 1. さいたま市のテレビ広報番組について知っていたこと（複数回答）

あなたが、さいたま市のテレビ広報番組について知っていたことを、以下の中から、すべて選んでください。



		知っていること	テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」がインターネットで見られること	テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」がインターネットで見られること	上記2つは知らなかったが、テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」という番組があることを知っていた	どれも知らなかった	認知率（※）
全体(n=1000)		16.0	4.1	6.2	76.5	23.5	
性別	男性(n=500)	17.0	6.2	6.4	74.4	25.6	
	女性(n=500)	15.0	2.0	6.0	78.6	21.4	
年代別	18-29歳(n=200)	17.0	3.5	5.0	78.0	22.0	
	30代(n=200)	14.5	6.0	7.0	77.0	23.0	
	40代(n=200)	15.0	3.0	7.5	76.0	24.0	
	50代(n=200)	16.0	6.0	4.5	77.0	23.0	
	60代(n=200)	17.5	2.0	7.0	74.5	25.5	
性別・年代別	男性18-29歳(n=100)	18.0	5.0	4.0	78.0	22.0	
	男性30代(n=100)	14.0	9.0	10.0	73.0	27.0	
	男性40代(n=100)	19.0	4.0	6.0	73.0	27.0	
	男性50代(n=100)	17.0	9.0	5.0	74.0	26.0	
	男性60代(n=100)	17.0	4.0	7.0	74.0	26.0	
	女性18-29歳(n=100)	16.0	2.0	6.0	78.0	22.0	
	女性30代(n=100)	15.0	3.0	4.0	81.0	19.0	
	女性40代(n=100)	11.0	2.0	9.0	79.0	21.0	
	女性50代(n=100)	15.0	3.0	4.0	80.0	20.0	
	女性60代(n=100)	18.0	0.0	7.0	75.0	25.0	

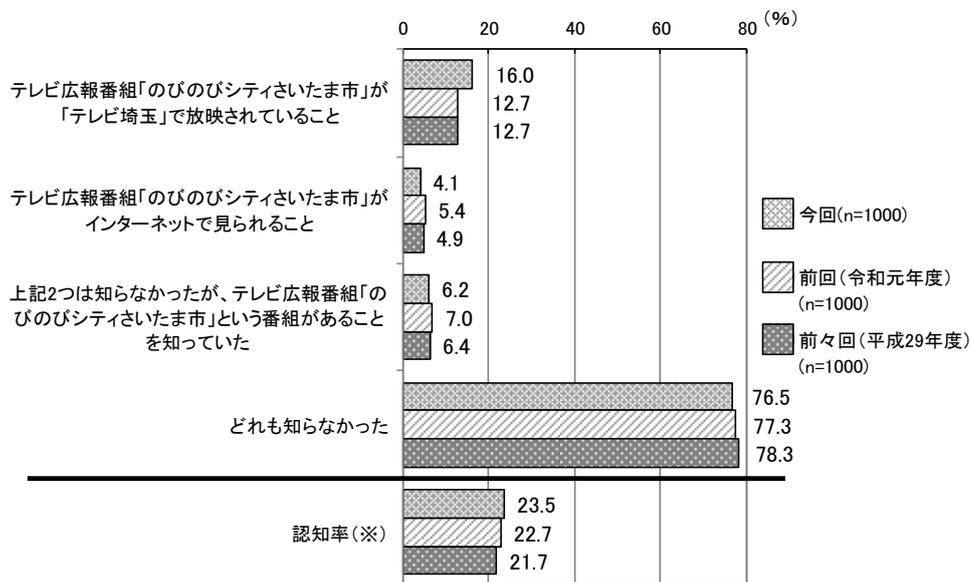
(※) 認知率の算出方法

回答選択肢のうち、「テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」が「テレビ埼玉」で放映されていること」、「テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」がインターネットで見られること」、「上記2つは知らなかったが、テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」という番組があることを知っていた」から、1つ以上の項目を回答したサンプルの割合から算出しております。

【全体結果】 テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」の『認知率』は24%であった。

◎性別で見ると、『認知率』は、男性（26%）が女性（21%）より5ポイント高かった。

Q 1. さいたま市のテレビ広報番組について知っていたこと（複数回答）（経年比較）



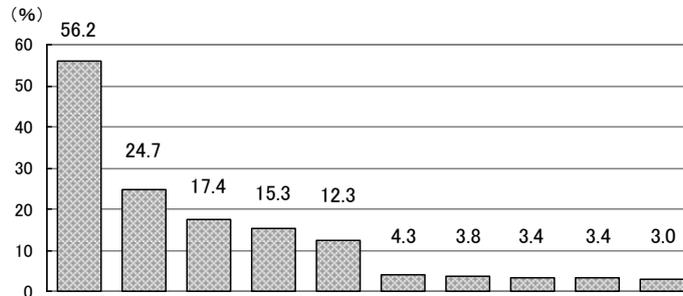
【比較結果】過去の同様の調査結果と、ほぼ同じであった。

(Q1で、さいたま市のテレビ広報番組について、1つ以上の項目を知っていたと回答した人が対象)

Q2. 「のびのびシティさいたま市」の認知経路(複数回答)(1/2)

あなたは、テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」のことを、これまで何によって見たり聞いたりしましたか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

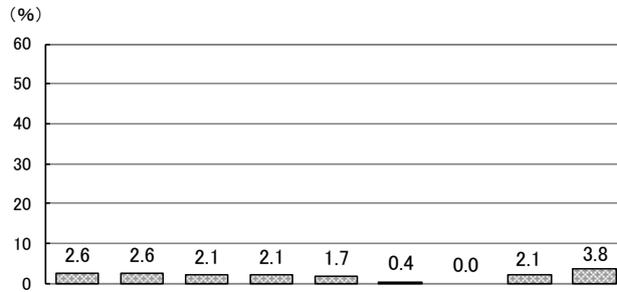


	市報さいたま	テレビのコマーシャル	テレビに表示されるテレビ番組表	たまたま番組を見た	市のホームページ	ラジオのコマーシャル	家族や知人の話	新聞や雑誌のテレビ番組表	大宮駅の電光掲示板	市のツイッター・フェイスブック
全体(n=235)	56.2	24.7	17.4	15.3	12.3	4.3	3.8	3.4	3.4	3.0
性別										
男性(n=128)	50.0	31.3	21.9	16.4	16.4	6.3	3.1	3.9	5.5	1.6
女性(n=107)	63.6	16.8	12.1	14.0	7.5	1.9	4.7	2.8	0.9	4.7
年代別										
18-29歳(n=44)	47.7	27.3	18.2	9.1	9.1	13.6	4.5	6.8	4.5	4.5
30代(n=46)	45.7	32.6	13.0	15.2	8.7	2.2	6.5	2.2	4.3	4.3
40代(n=48)	64.6	27.1	12.5	12.5	10.4	6.3	2.1	4.2	4.2	2.1
50代(n=46)	63.0	19.6	19.6	19.6	21.7	0.0	2.2	0.0	0.0	2.2
60代(n=51)	58.8	17.6	23.5	19.6	11.8	0.0	3.9	3.9	3.9	2.0
性・年代別										
男性18-29歳(n=22)	54.5	36.4	22.7	9.1	9.1	22.7	0.0	4.5	9.1	0.0
男性30代(n=27)	48.1	37.0	14.8	11.1	14.8	3.7	7.4	3.7	7.4	3.7
男性40代(n=27)	55.6	37.0	22.2	14.8	14.8	7.4	3.7	7.4	7.4	0.0
男性50代(n=26)	50.0	23.1	23.1	19.2	26.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性60代(n=26)	42.3	23.1	26.9	26.9	15.4	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8
女性18-29歳(n=22)	40.9	18.2	13.6	9.1	9.1	4.5	9.1	9.1	0.0	9.1
女性30代(n=19)	42.1	26.3	10.5	21.1	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3
女性40代(n=21)	76.2	14.3	0.0	9.5	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0	4.8
女性50代(n=20)	80.0	15.0	15.0	20.0	15.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0
女性60代(n=25)	76.0	12.0	20.0	12.0	8.0	0.0	4.0	4.0	4.0	0.0

【全体結果】「のびのびシティさいたま市」を知っている人(235人)に、その認知経路を聞いたところ、「市報さいたま」が56%で最も高く、「テレビのコマーシャル」(25%)、「テレビに表示されるテレビ番組表」(17%)が続いた。

◎性別で見ると、「市報さいたま」は、女性(64%)が男性(50%)より14ポイント高かった。一方、「テレビのコマーシャル」、「テレビに表示されるテレビ番組表」は、男性が女性より10ポイント以上高かった。

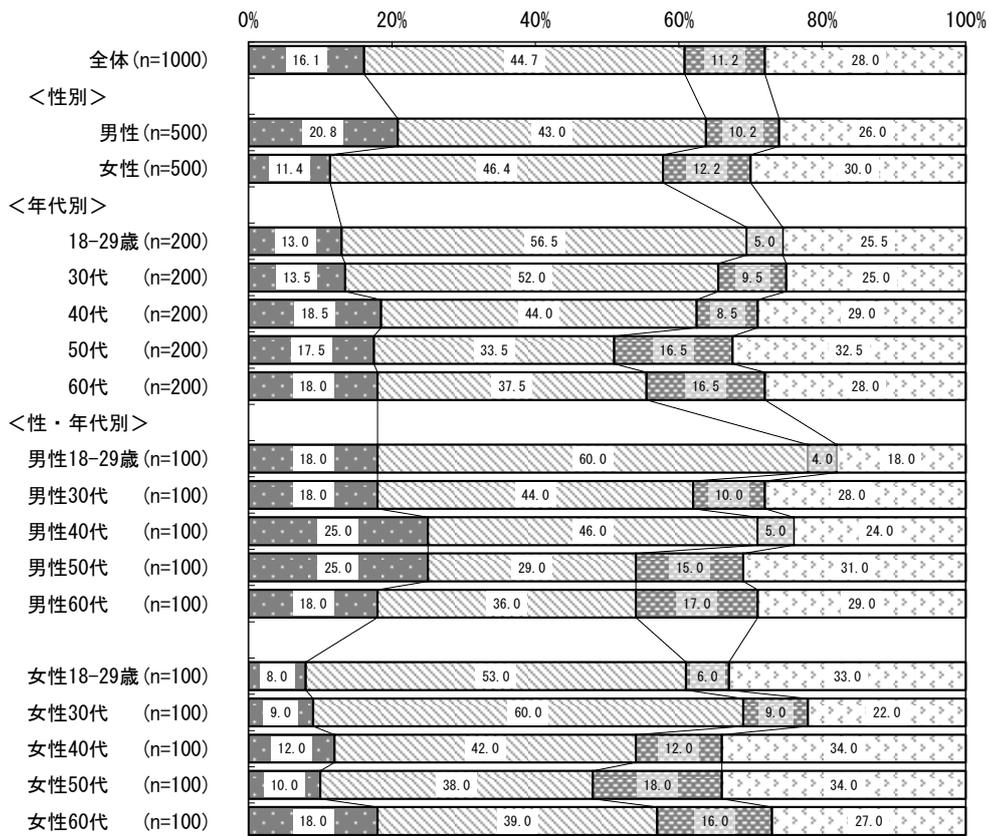
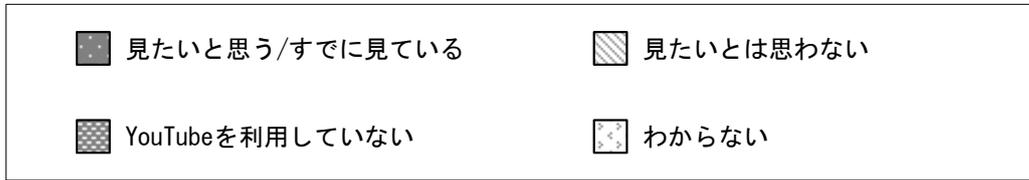
Q2. 「のびのびシティさいたま市」の認知経路（複数回答）（2/2）



		市公式YouTubeチャネル	さいたま新都心の電光掲示板	番組表	インターネット上のテレビ	区役所の電光掲示板	新聞の広告記事	その他のインターネット	その他の雑誌・書籍	その他	覚えていない/わからない
全体(n=235)		2.6	2.6	2.1	2.1	1.7	0.4	0.0	2.1	3.8	
性別	男性(n=128)	3.9	3.9	3.1	3.9	2.3	0.8	0.0	2.3	2.3	
	女性(n=107)	0.9	0.9	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	1.9	5.6	
年代別	18-29歳(n=44)	4.5	4.5	4.5	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3	9.1	
	30代 (n=46)	4.3	0.0	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	2.2	2.2	
	40代 (n=48)	2.1	0.0	2.1	2.1	2.1	2.1	0.0	0.0	2.1	
	50代 (n=46)	2.2	8.7	0.0	4.3	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	
	60代 (n=51)	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	5.9	3.9	
性・年代別	男性18-29歳(n=22)	9.1	9.1	4.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	
	男性30代 (n=27)	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	
	男性40代 (n=27)	3.7	0.0	3.7	3.7	3.7	3.7	0.0	0.0	3.7	
	男性50代 (n=26)	3.8	11.5	0.0	7.7	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性60代 (n=26)	0.0	0.0	3.8	3.8	3.8	0.0	0.0	7.7	0.0	
	女性18-29歳(n=22)	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	9.1	
	女性30代 (n=19)	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	
	女性40代 (n=21)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性50代 (n=20)	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	
	女性60代 (n=25)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	8.0	

Q3. 「のびのびシティさいたま市」の配信動画を見たいと思うか

テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」は、市公式YouTubeチャンネルで配信しています。あなたは、YouTubeで「のびのびシティさいたま市」の配信動画を見たいと思いますか。



【全体結果】「見たいと思う/すでに見ている」は16%、「見たいとは思わない」は45%であった。

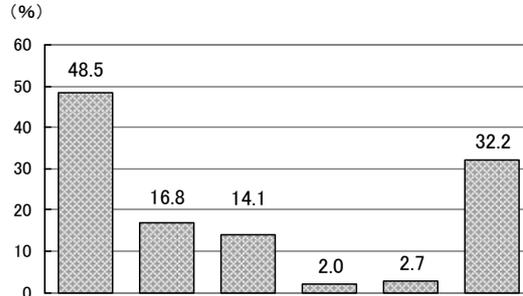
◎性別で見ると、「見たいと思う/すでに見ている」は、男性（21%）が女性（11%）より10ポイント高かった。

◎年代別で見ると、「見たいとは思わない」は、年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、18-29歳で57%となった。

(Q3で、「見たいとは思わない」と回答した人が対象)

Q4. 「のびのびシティさいたま市」の配信動画を見たいと思わない理由（複数回答）

あなたが、「のびのびシティさいたま市」の配信動画を見たいと思わない理由は何ですか。以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



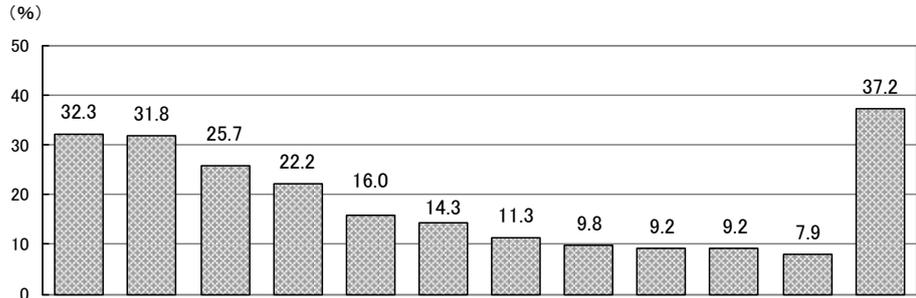
	興味のある内容でない	行政の動画は堅いイメージがある	動画の時間(15分)が長い	放送(毎週日曜日10時45分)を見ている	配信動画は見ないが、テレビ埼玉での	その他	特に理由はない/何となく
全体(n=447)	48.5	16.8	14.1	2.0	2.7	32.2	
性別	男性(n=215)	46.5	19.1	14.4	2.3	1.9	33.0
	女性(n=232)	50.4	14.7	13.8	1.7	3.4	31.5
年代別	18-29歳(n=113)	68.1	21.2	15.9	0.9	0.0	15.9
	30代(n=104)	55.8	21.2	15.4	1.9	3.8	24.0
	40代(n=88)	39.8	18.2	15.9	1.1	1.1	38.6
	50代(n=67)	37.3	13.4	10.4	3.0	1.5	41.8
	60代(n=75)	29.3	5.3	10.7	4.0	8.0	52.0
性・年代別	男性18-29歳(n=60)	65.0	21.7	13.3	1.7	0.0	18.3
	男性30代(n=44)	54.5	25.0	20.5	0.0	4.5	22.7
	男性40代(n=46)	41.3	23.9	19.6	2.2	2.2	30.4
	男性50代(n=29)	31.0	13.8	6.9	6.9	0.0	48.3
	男性60代(n=36)	25.0	5.6	8.3	2.8	2.8	61.1
	女性18-29歳(n=53)	71.7	20.8	18.9	0.0	0.0	13.2
	女性30代(n=60)	56.7	18.3	11.7	3.3	3.3	25.0
	女性40代(n=42)	38.1	11.9	11.9	0.0	0.0	47.6
	女性50代(n=38)	42.1	13.2	13.2	0.0	2.6	36.8
	女性60代(n=39)	33.3	5.1	12.8	5.1	12.8	43.6

【全体結果】「のびのびシティさいたま市」を見たいとは思わない人(447人)に理由を聞いたところ、「興味のある内容でない」が49%で最も高く、「行政の動画は堅いイメージがある」(17%)、「動画の時間(15分)が長い」(14%)が続いた。

◎年代別で見ると、「興味のある内容でない」は、年代が下がるにつれ高くなり、18-29歳で68%となった。

Q5. 「のびのびシティさいたま市」で放送されたテーマの中で、見たいと思うもの（複数回答）

「のびのびシティさいたま市」で放送されたテーマの中で、あなたが見たいと思うものはありますか。以下の、令和2年度に放送した主なテーマの中から、あてはまるものをすべて選んでください。



	季節に合わせたおすすめスポットの紹介(地域の魅力)	各区の見どころや魅力の紹介(地域の魅力)	さいたま市ゆかりの著名人とそれにかかわる歴史文化の紹介(歴史・文化)	市内の歴史を紹介しながらの街歩き(歴史・文化・まちづくり)	鉄道をテーマに大宮駅周辺を紹介する(鉄道・歴史)	まちなかにあるアート作品の特集(文化・芸術)	地元(Jリーグチーム)の紹介とスポーツまちづくり(スポーツ)	地下水・雨水の処理や下水管の詰まりを防ぐ方法の紹介(くらしに関する情報)	実験やおもちゃ作りなど自宅で楽しむ教育コンテンツの紹介(教育・学び)	熱中症対策や食中毒など季節に合わせた健康情報(健康情報)	宇宙をテーマに宇宙飛行士若田さんに話を伺う(科学)	特に興味があるものはない
全体(n=1000)	32.3	31.8	25.7	22.2	16.0	14.3	11.3	9.8	9.2	9.2	7.9	37.2
性別												
男性(n=500)	24.8	31.4	29.4	25.2	18.8	16.0	14.8	9.4	9.4	7.0	8.8	36.4
女性(n=500)	39.8	32.2	22.0	19.2	13.2	12.6	7.8	10.2	9.0	11.4	7.0	38.0
年代別												
18-29歳(n=200)	26.5	25.0	20.5	14.0	12.5	17.5	4.5	7.0	10.5	10.5	8.0	38.5
30代(n=200)	29.5	24.0	20.0	16.5	19.0	16.0	13.5	6.5	15.0	5.5	8.5	43.0
40代(n=200)	34.0	36.0	29.0	27.0	15.5	14.5	13.0	8.5	11.5	9.0	7.5	34.5
50代(n=200)	34.5	35.0	26.0	19.5	16.5	12.5	15.5	14.0	2.5	11.5	7.5	37.5
60代(n=200)	37.0	39.0	33.0	34.0	16.5	11.0	10.0	13.0	6.5	9.5	8.0	32.5
性・年代別												
男性18-29歳(n=100)	19.0	34.0	25.0	21.0	19.0	20.0	6.0	9.0	12.0	8.0	10.0	34.0
男性30代(n=100)	23.0	24.0	24.0	21.0	20.0	16.0	18.0	7.0	14.0	5.0	12.0	47.0
男性40代(n=100)	28.0	32.0	31.0	32.0	16.0	16.0	16.0	8.0	10.0	5.0	6.0	34.0
男性50代(n=100)	27.0	33.0	32.0	19.0	21.0	15.0	21.0	13.0	4.0	12.0	10.0	33.0
男性60代(n=100)	27.0	34.0	35.0	33.0	18.0	13.0	13.0	10.0	7.0	5.0	6.0	34.0
女性18-29歳(n=100)	34.0	16.0	16.0	7.0	6.0	15.0	3.0	5.0	9.0	13.0	6.0	43.0
女性30代(n=100)	36.0	24.0	16.0	12.0	18.0	16.0	9.0	6.0	16.0	6.0	5.0	39.0
女性40代(n=100)	40.0	40.0	27.0	22.0	15.0	13.0	10.0	9.0	13.0	13.0	9.0	35.0
女性50代(n=100)	42.0	37.0	20.0	20.0	12.0	10.0	10.0	15.0	1.0	11.0	5.0	42.0
女性60代(n=100)	47.0	44.0	31.0	35.0	15.0	9.0	7.0	16.0	6.0	14.0	10.0	31.0

【全体結果】「季節に合わせたおすすめスポットの紹介(地域の魅力)」、「各区の見どころや魅力の紹介(地域の魅力)」がともに32%で最も高く、「さいたま市ゆかりの著名人とそれにかかわる歴史文化の紹介(歴史・文化)」(26%)が続いた。

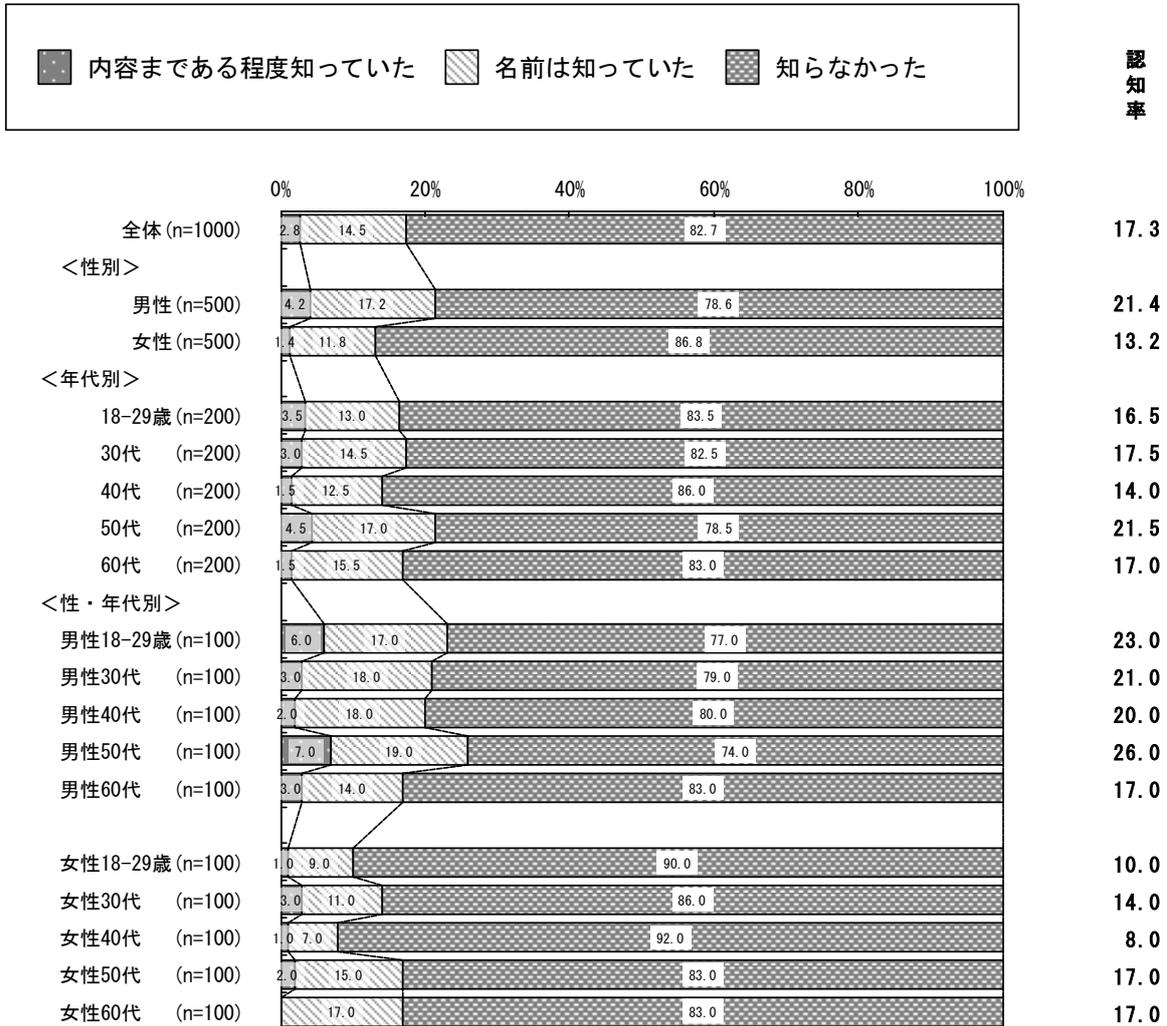
◎性別で見ると、「季節に合わせたおすすめスポットの紹介(地域の魅力)」は、女性(40%)が男性(25%)より15ポイント高かった。

◎性・年代別で見ると、「季節に合わせたおすすめスポットの紹介(地域の魅力)」は、女性では、年代が上がるにつれ高くなり、60代で47%となった。

【さいたま市総合振興計画に関するアンケート】

Q6. 「さいたま市総合振興計画」の認知

あなたは、「さいたま市総合振興計画」を知っていましたか。



【全体結果】「内容まである程度知っていた」(3%)と「名前は知っていた」(15%)を合わせた『認知率』は、17%であった。

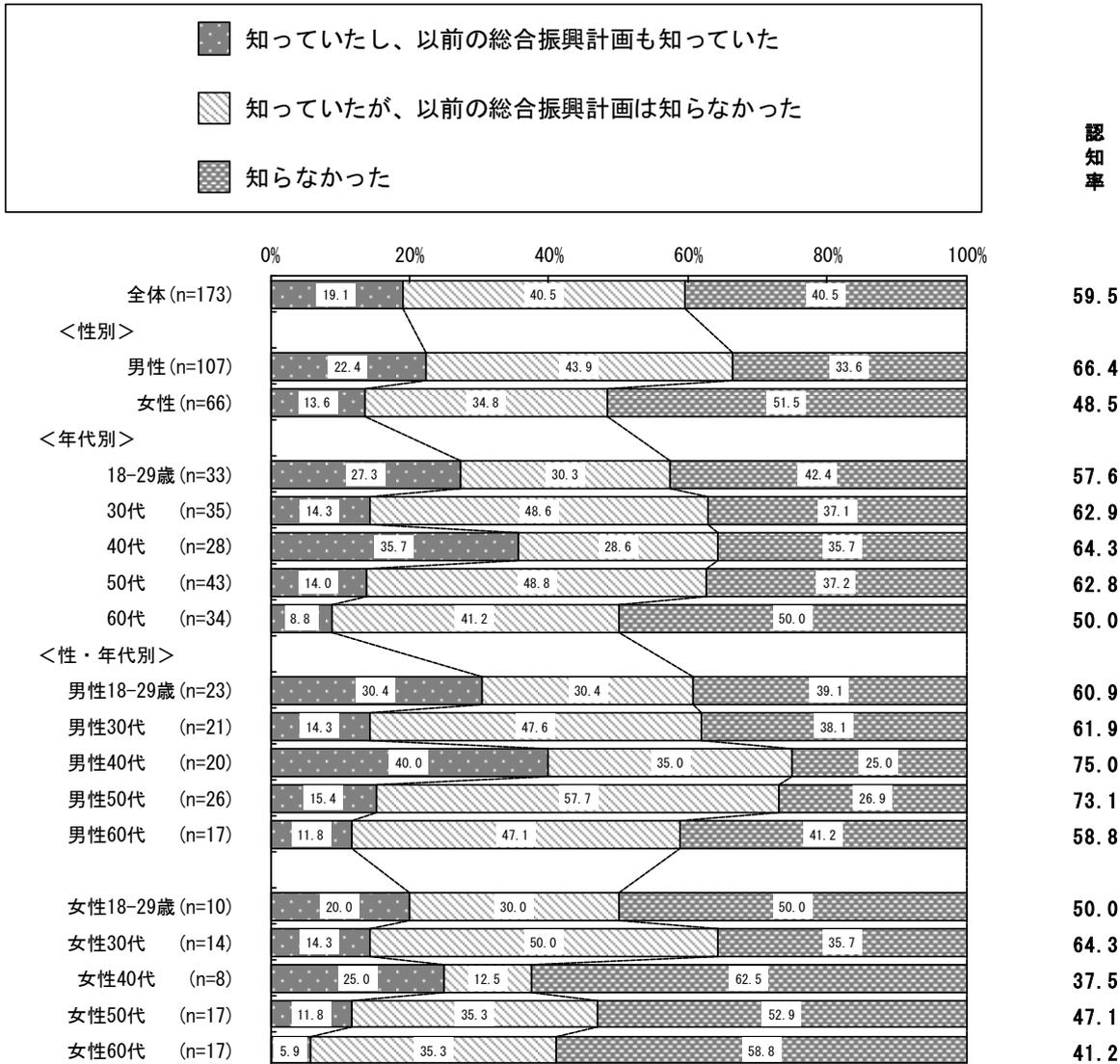
◎性別で見ると、『認知率』は、男性(21%)が女性(13%)より8ポイント高かった。

◎年代別で見ると、『認知率』は、50代が22%で最も高かった。

(Q6で、「内容まである程度知っていた」、「名前は知っていた」と回答した人が対象)

Q7. 「2030 さいたま輝く未来と希望(ゆめ)のまちプラン」(さいたま市総合振興計画)が、令和3年4月から新たにスタートした計画であることを知っていたか

あなたは、「2030 さいたま輝く未来と希望(ゆめ)のまちプラン」(さいたま市総合振興計画)が、令和3年4月から新たにスタートした計画であることを知っていましたか。



【全体結果】「2030さいたま輝く未来と希望(ゆめ)のまちプラン」(さいたま市総合振興計画)を知っている人(173人)に同計画が令和3年4月から新たにスタートした計画であることを知っていたか聞いたところ、「知っていたし、以前の総合振興計画も知っていた」(19%)と「知っていたが、以前の総合振興計画は知らなかった」(41%)を合わせた『認知率』は、60%であった。

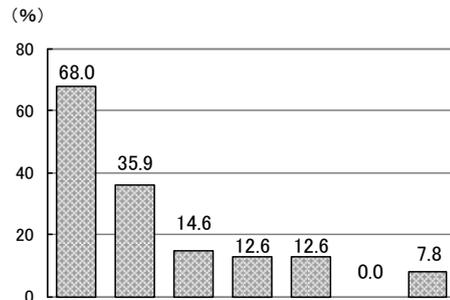
◎性別で見ると、『認知率』は、男性(66%)が女性(49%)より17ポイント高かった。

(Q7で、「知っていたし、以前の総合振興計画も知っていた」、「知っていたが、以前の総合振興計画は知らなかった」と回答した人が対象)

Q8. 「2030 さいたま輝く未来と希望(ゆめ)のまちプラン」(さいたま市総合振興計画)の認知経路(複数回答)

あなたは、「2030 さいたま輝く未来と希望(ゆめ)のまちプラン」(さいたま市総合振興計画)のことを、何で知りましたか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



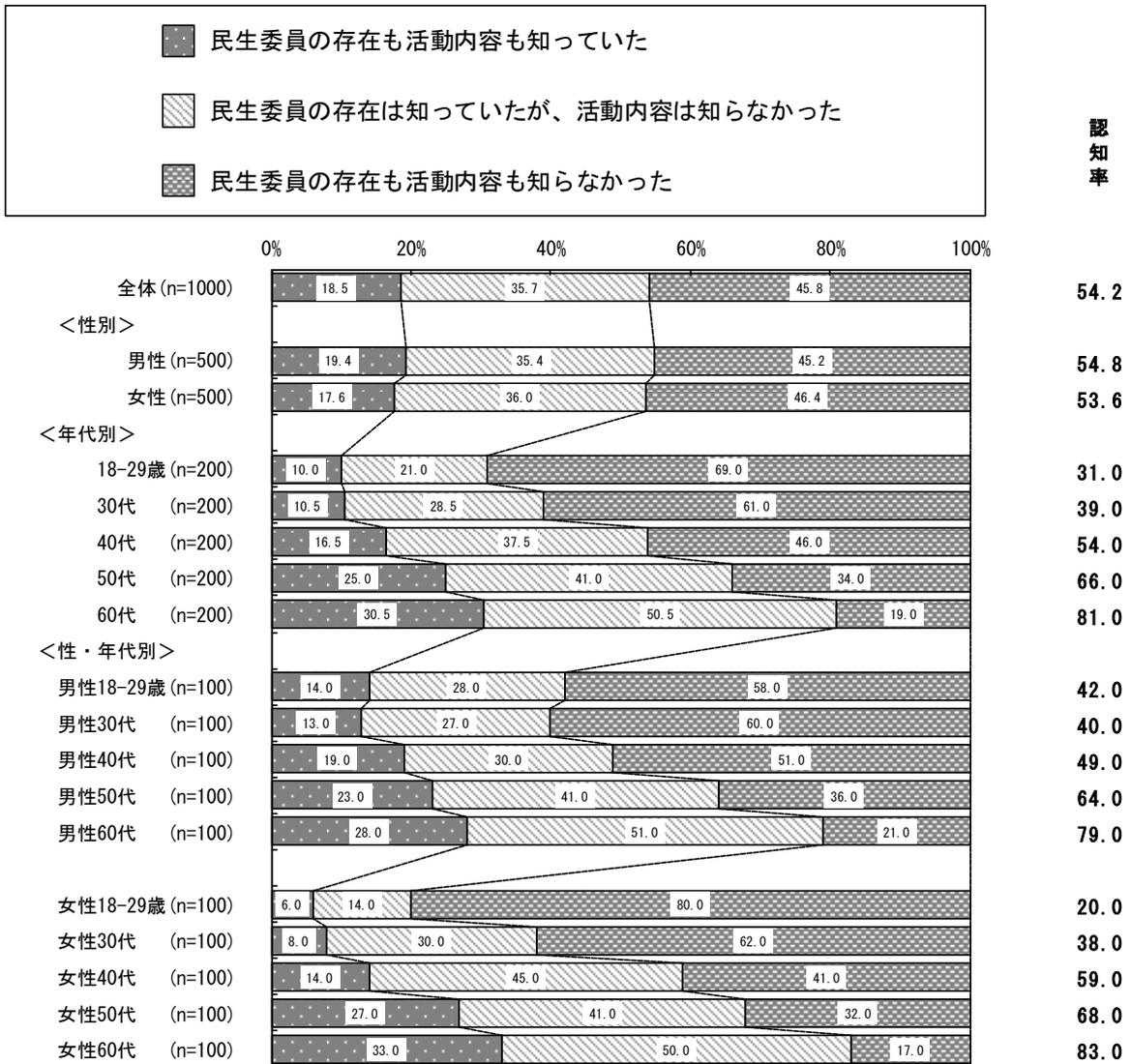
		「市報さいたま」	市ホームページ	市のその他の情報誌(紙)・冊子	ポスター・リーフレットなど	取った・見かけた	市・区役所の窓口などで実物を手に	その他	覚えていない/わからない
全体(n=103)		68.0	35.9	14.6	12.6	12.6	0.0	7.8	
性別	男性(n=71)	67.6	40.8	16.9	14.1	15.5	0.0	7.0	
	女性(n=32)	68.8	25.0	9.4	9.4	6.3	0.0	9.4	
年代別	18-29歳(n=19)	57.9	63.2	15.8	21.1	21.1	0.0	10.5	
	30代(n=22)	59.1	27.3	22.7	9.1	0.0	0.0	18.2	
	40代(n=18)	55.6	44.4	16.7	22.2	27.8	0.0	0.0	
	50代(n=27)	85.2	18.5	3.7	7.4	14.8	0.0	3.7	
	60代(n=17)	76.5	35.3	17.6	5.9	0.0	0.0	5.9	
性・年代別	男性18-29歳(n=14)	57.1	64.3	21.4	28.6	28.6	0.0	7.1	
	男性30代(n=13)	61.5	30.8	23.1	7.7	0.0	0.0	23.1	
	男性40代(n=15)	60.0	40.0	20.0	13.3	26.7	0.0	0.0	
	男性50代(n=19)	78.9	26.3	5.3	10.5	15.8	0.0	5.3	
	男性60代(n=10)	80.0	50.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
	女性18-29歳(n=5)	60.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	
	女性30代(n=9)	55.6	22.2	22.2	11.1	0.0	0.0	11.1	
	女性40代(n=3)	33.3	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
	女性50代(n=8)	100.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	
	女性60代(n=7)	71.4	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	

【全体結果】「2030さいたま輝く未来と希望(ゆめ)のまちプラン」(さいたま市総合振興計画)が令和3年4月から新たにスタートした計画であることを知っていた人(103人)に、その認知経路を聞いたところ、「市報さいたま」が68%で最も高く、「市ホームページ」(36%)、「市のその他の情報誌(紙)・冊子」(15%)が続いた。

【民生委員・児童委員に関するアンケート】

Q9. 民生委員の認知

あなたは、民生委員を知っていましたか。



【全体結果】「民生委員の存在も活動内容も知っていた」(19%)と「民生委員の存在は知っていたが、活動内容は知らなかった」(36%)を合わせた『認知率』は、54%であった。

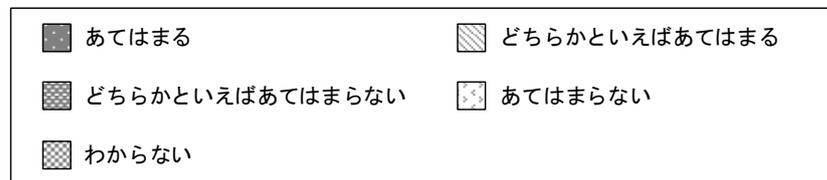
◎年代別で見ると、『認知率』は、年代が上がるにつれ高くなり、60代で81%となった。

(Q9で、「民生委員の存在も活動内容も知っていた」、「民生委員の存在は知っていたが、活動内容は知らなかった」と回答した人が対象)

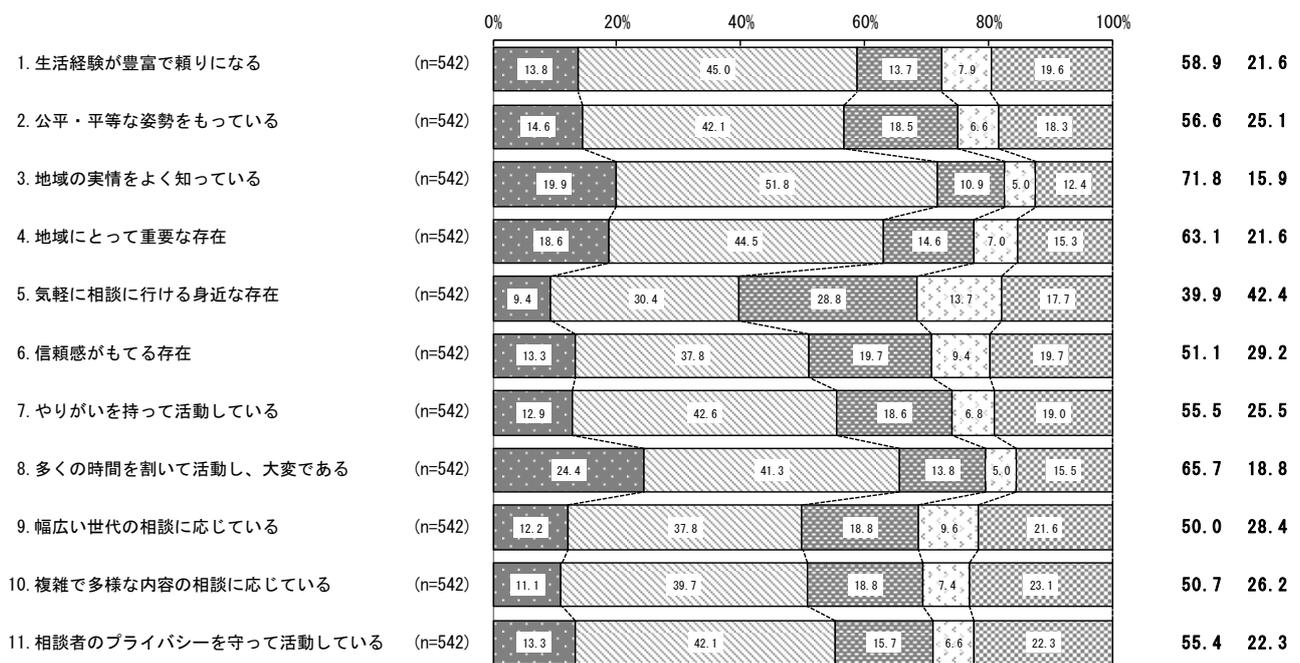
Q10. 民生委員のイメージ

あなたは、民生委員にどのようなイメージを持っていますか。

以下の中から、1~11のそれぞれ、もっとも近いものを1つずつ選んでください。



あてはまる (計)
あてはまらない (計)



1. 生活経験が豊富で頼りになる
【全体結果】「あてはまる」(14%)と「どちらかといえばあてはまる」(45%)を合わせた『あてはまる (計)』は、59%であった。

2. 公平・平等な姿勢をもっている
【全体結果】「あてはまる」(15%)と「どちらかといえばあてはまる」(42%)を合わせた『あてはまる (計)』は、57%であった。

3. 地域の実情をよく知っている
【全体結果】「あてはまる」(20%)と「どちらかといえばあてはまる」(52%)を合わせた『あてはまる (計)』は、72%であった。

4. 地域にとって重要な存在
【全体結果】「あてはまる」(19%)と「どちらかといえばあてはまる」(45%)を合わせた『あてはまる (計)』は、63%であった。

5. 気軽に相談に行ける身近な存在

【全体結果】「あてはまる」(9%)と「どちらかといえばあてはまる」(30%)を合わせた『あてはまる(計)』は、40%であった。

6. 信頼感がもてる存在

【全体結果】「あてはまる」(13%)と「どちらかといえばあてはまる」(38%)を合わせた『あてはまる(計)』は、51%であった。

7. やりがいを持って活動している

【全体結果】「あてはまる」(13%)と「どちらかといえばあてはまる」(43%)を合わせた『あてはまる(計)』は、56%であった。

8. 多くの時間を割いて活動し、大変である

【全体結果】「あてはまる」(24%)と「どちらかといえばあてはまる」(41%)を合わせた『あてはまる(計)』は、66%であった。

9. 幅広い世代の相談に応じている

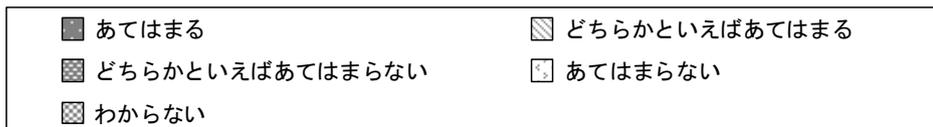
【全体結果】「あてはまる」(12%)と「どちらかといえばあてはまる」(38%)を合わせた『あてはまる(計)』は、50%であった。

10. 複雑で多様な内容の相談に応じている

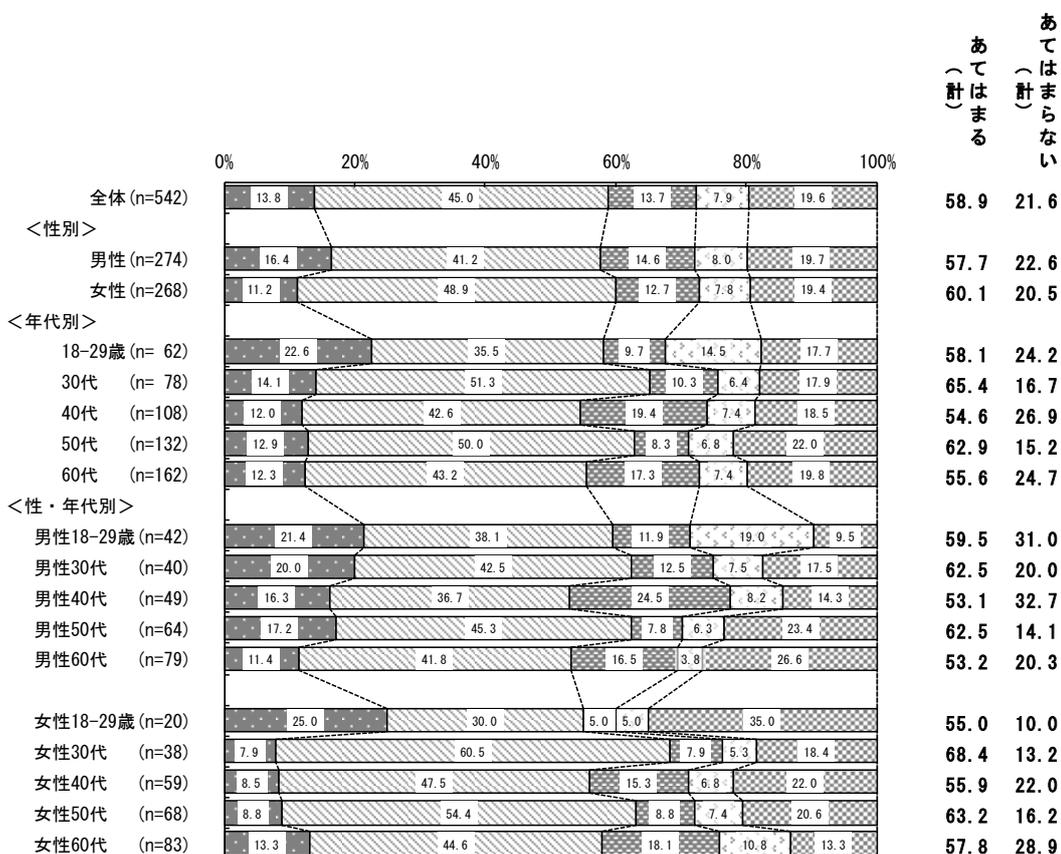
【全体結果】「あてはまる」(11%)と「どちらかといえばあてはまる」(40%)を合わせた『あてはまる(計)』は、51%であった。

11. 相談者のプライバシーを守って活動している

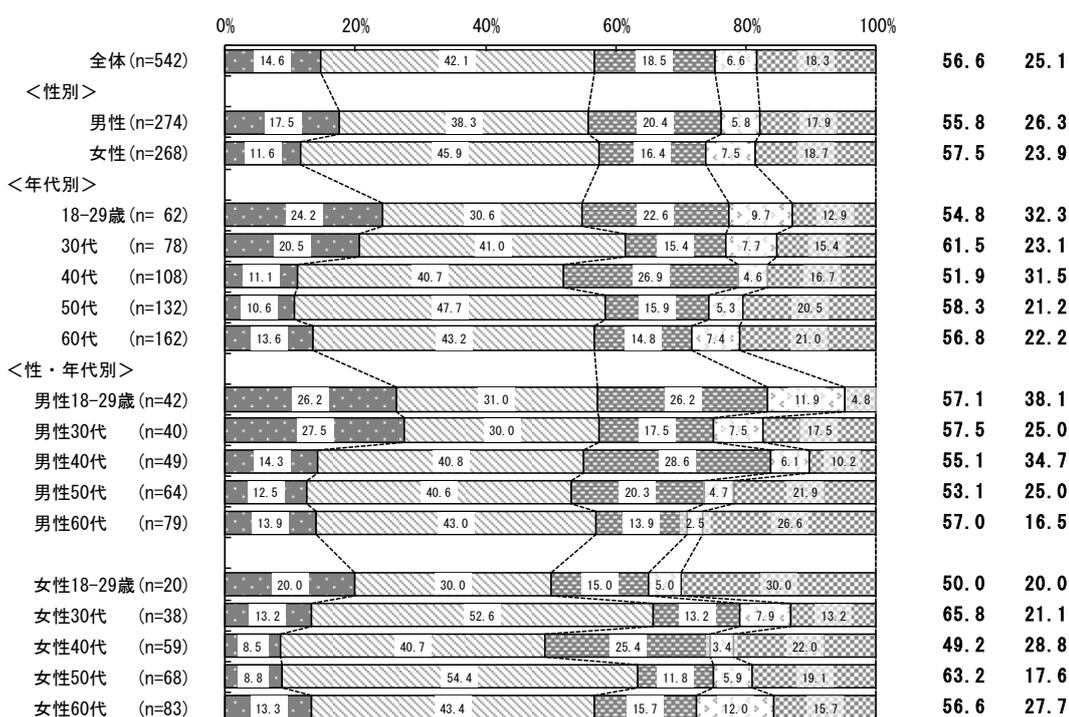
【全体結果】「あてはまる」(13%)と「どちらかといえばあてはまる」(42%)を合わせた『あてはまる(計)』は、55%であった。



1. 生活経験が豊富で頼りになる

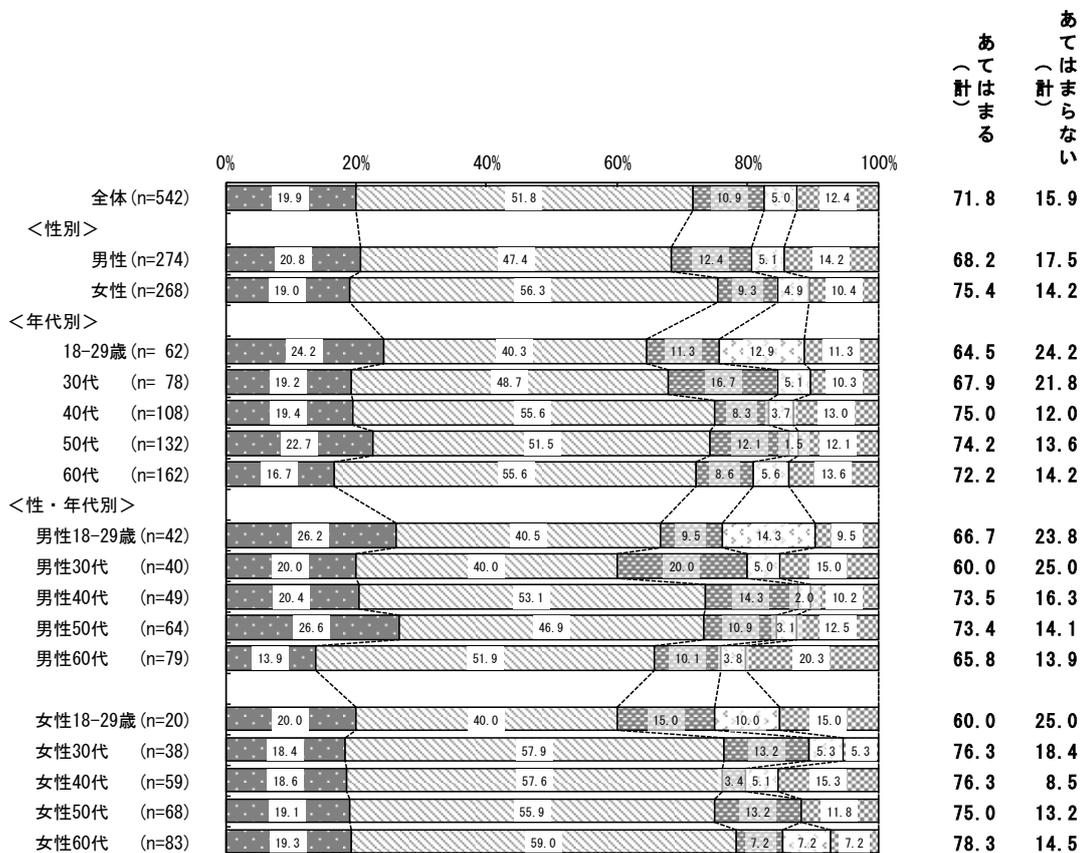


2. 公平・平等な姿勢をもっている

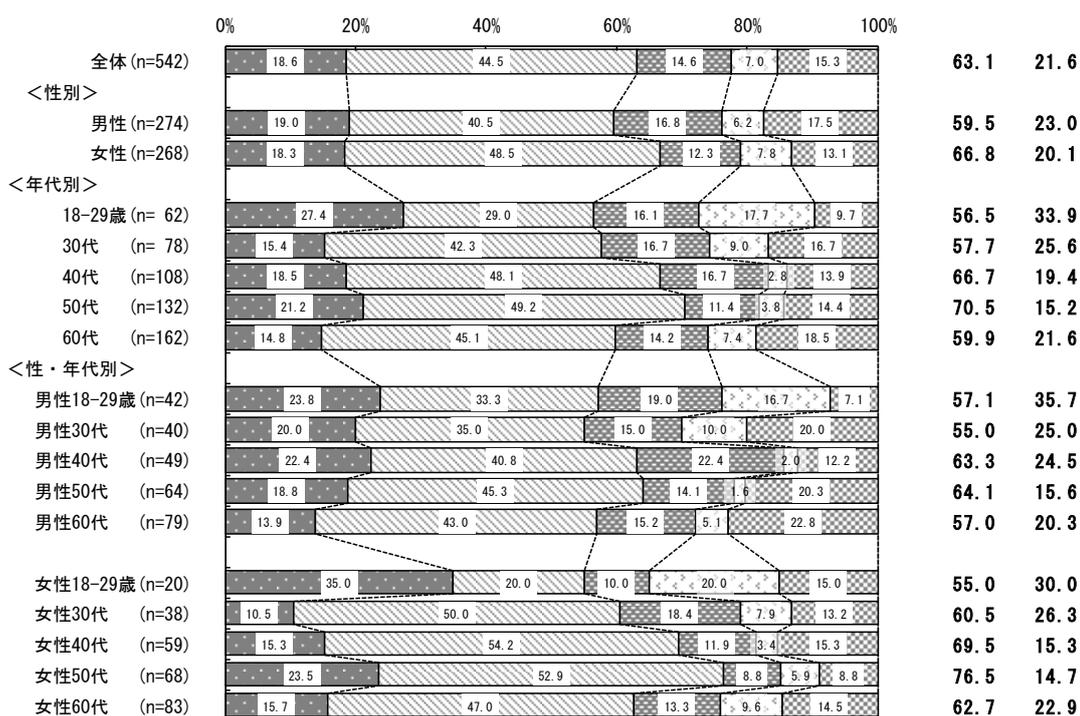




3. 地域の実情をよく知っている

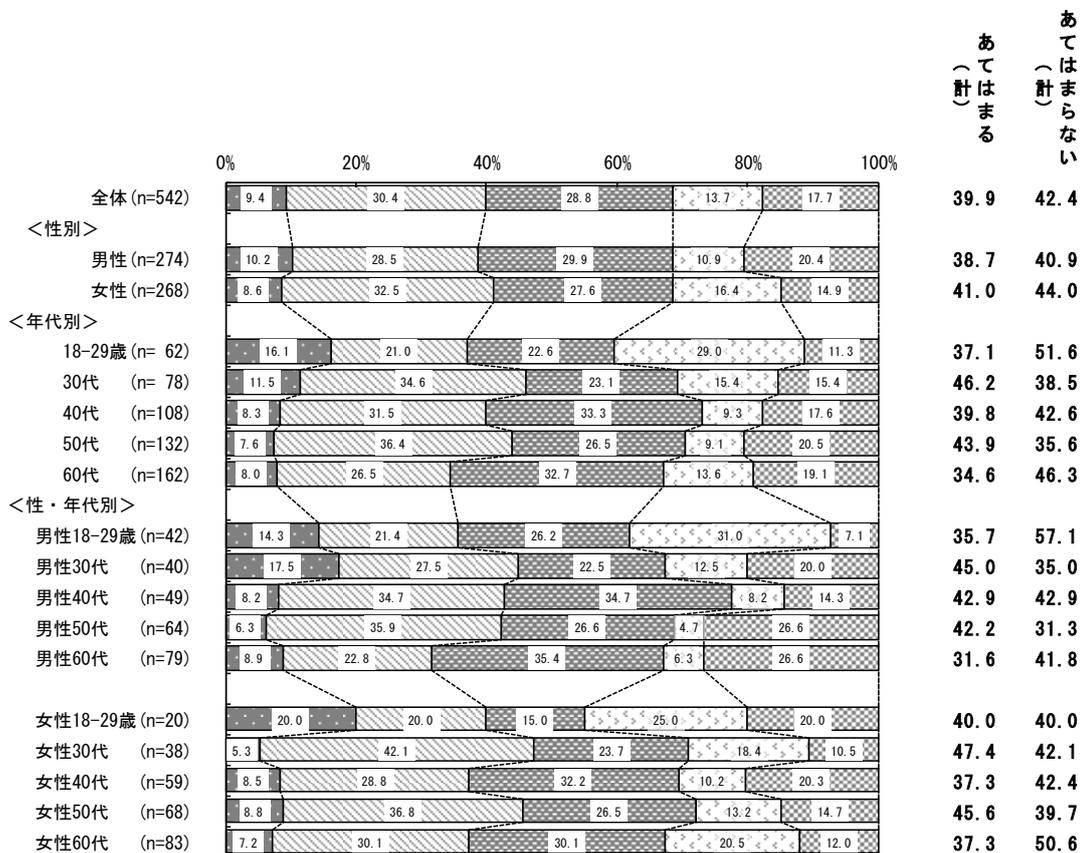


4. 地域にとって重要な存在

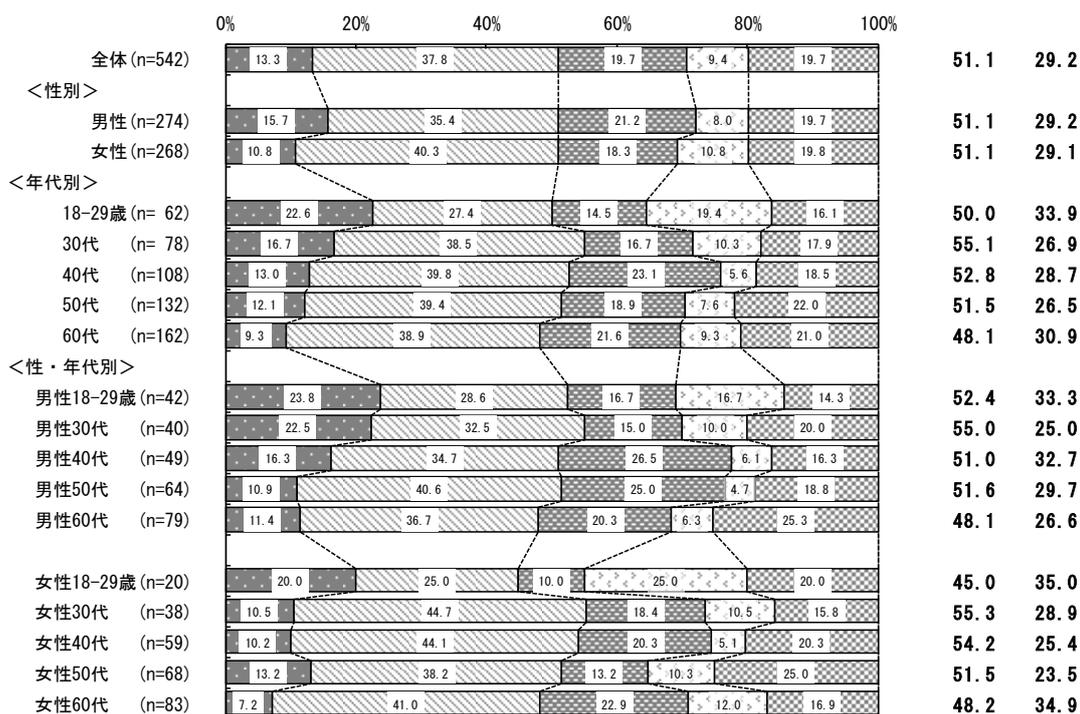




5. 気軽に相談に行ける身近な存在

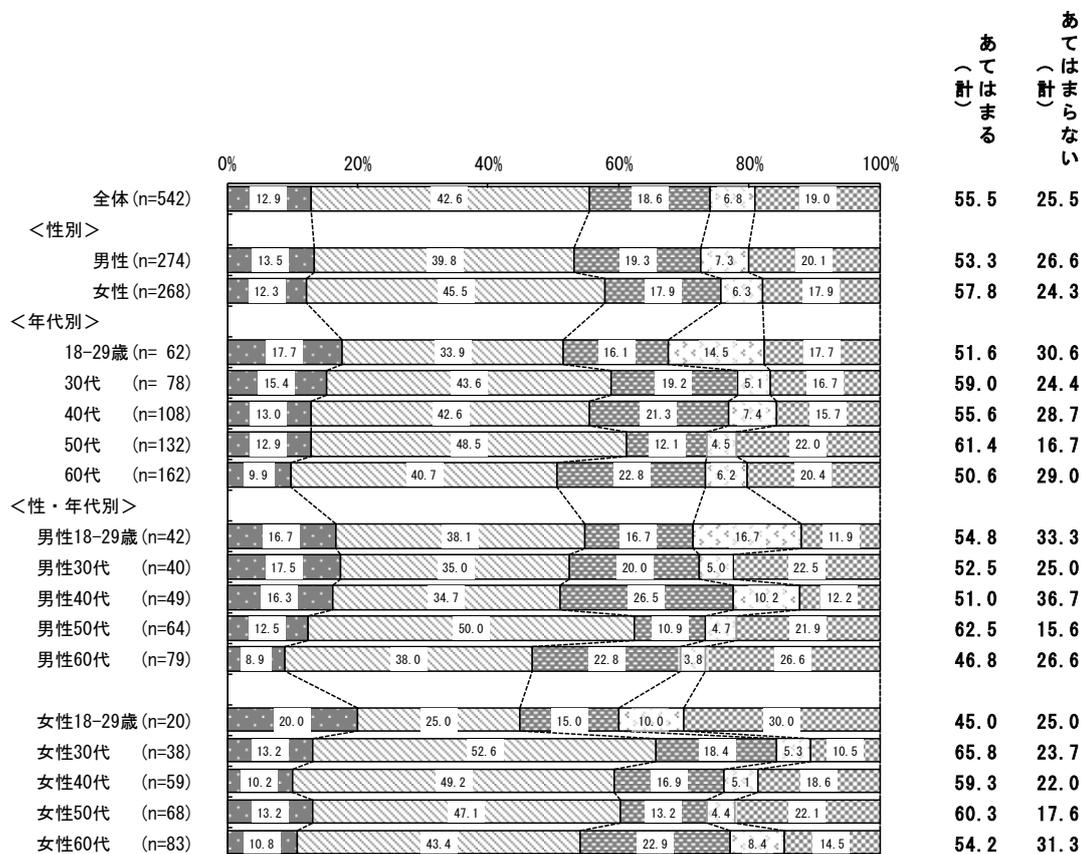


6. 信頼感もてる存在

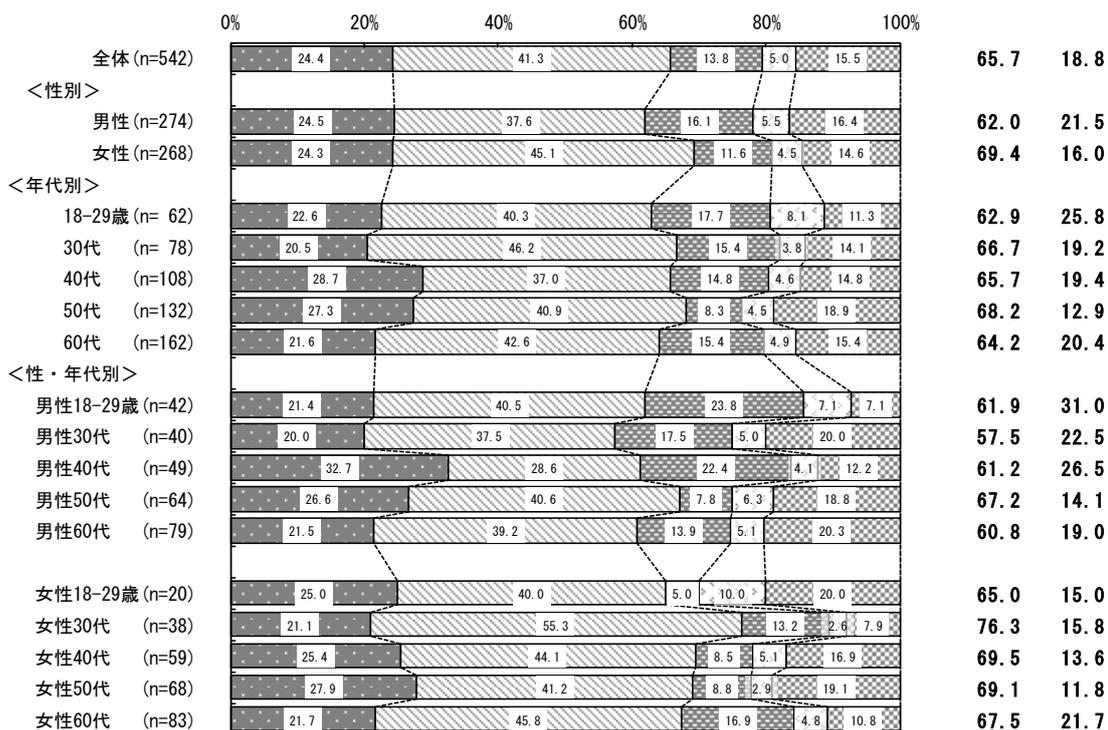


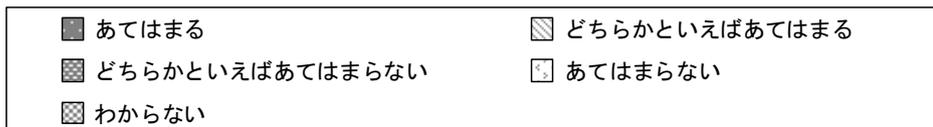


7. やりがいを持って活動している

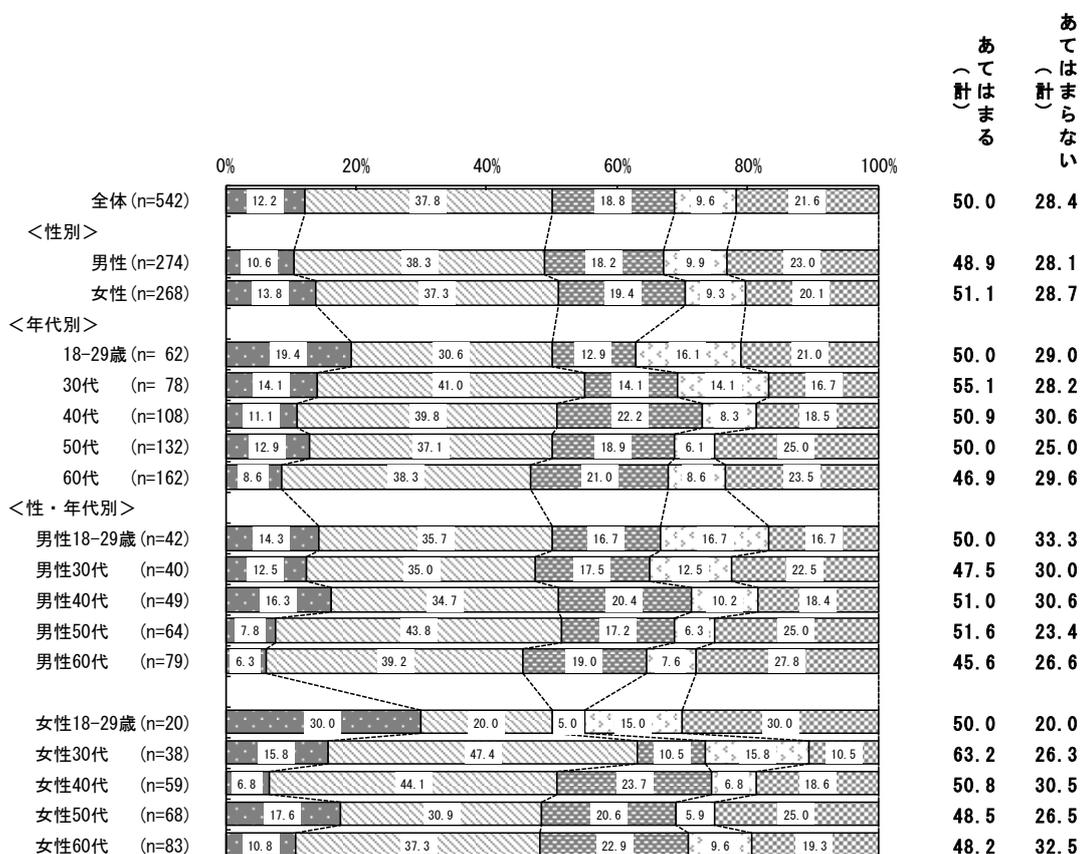


8. 多くの時間を割いて活動し、大変である

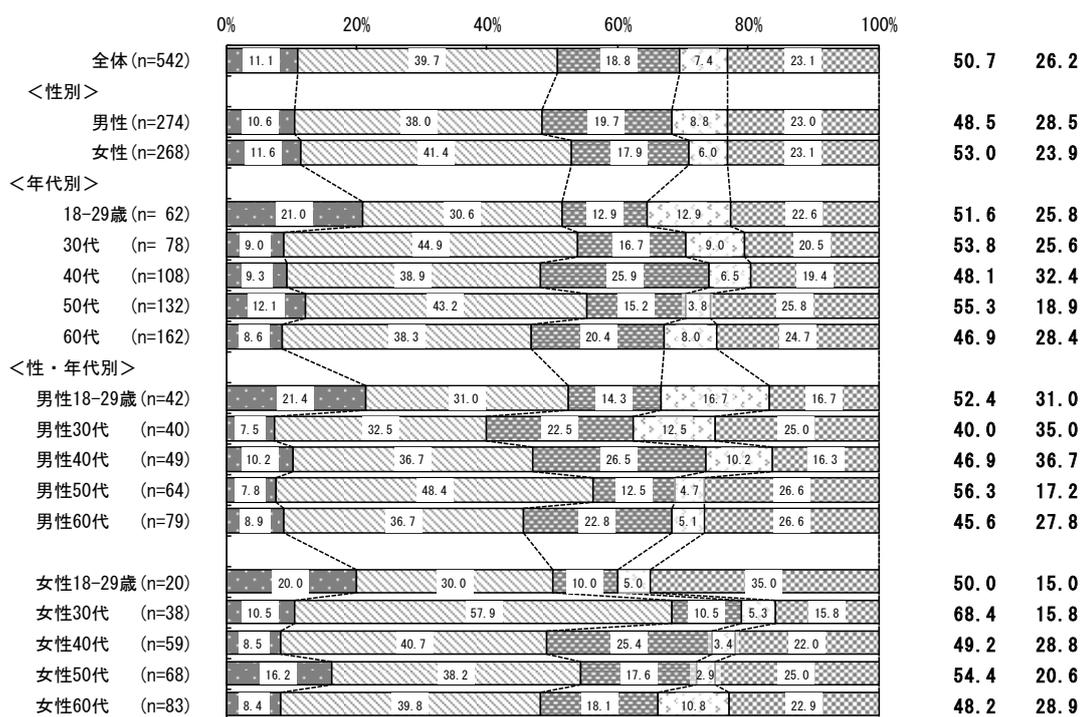


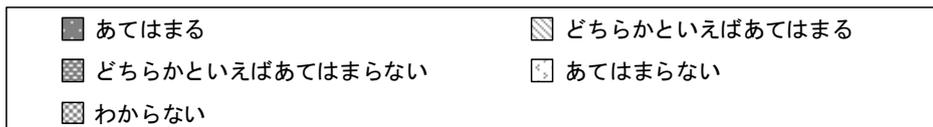


9. 幅広い世代の相談に応じている

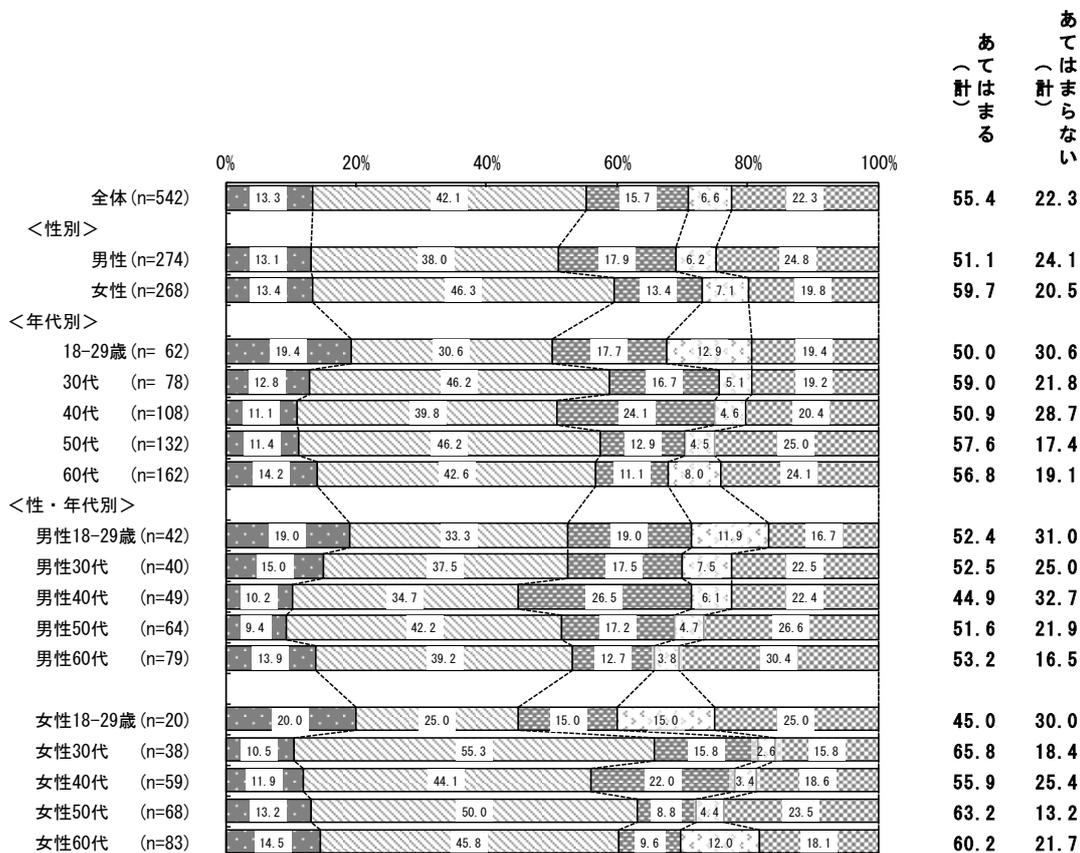


10. 複雑で多様な内容の相談に応じている



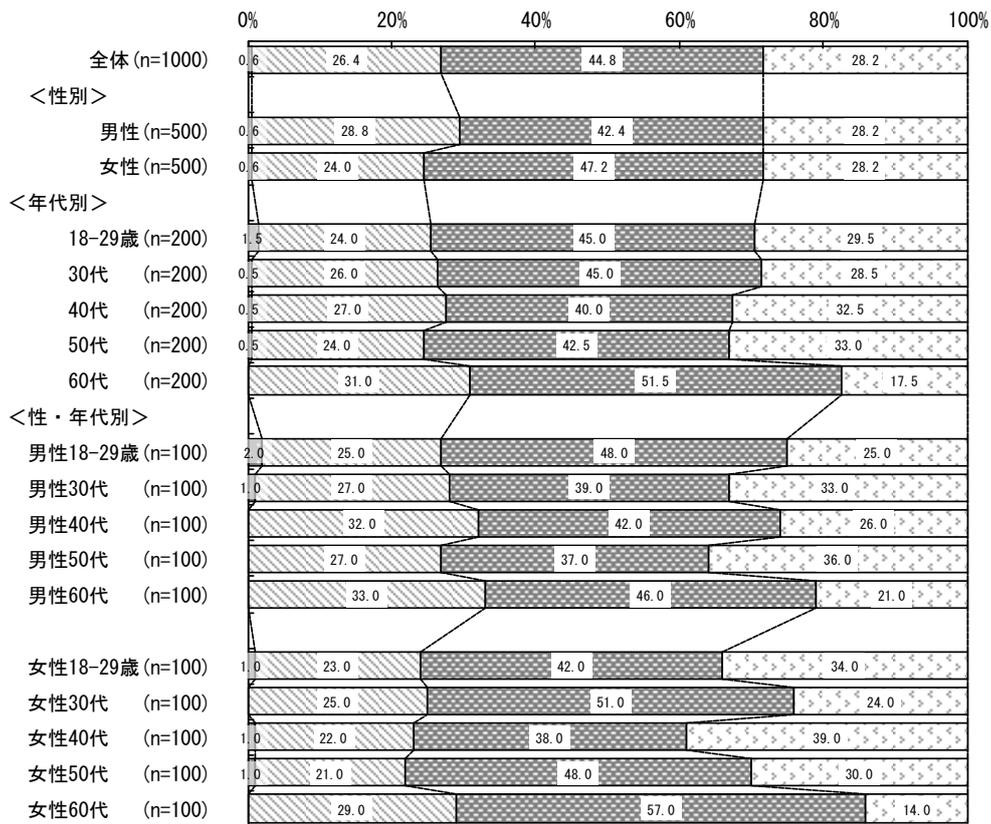
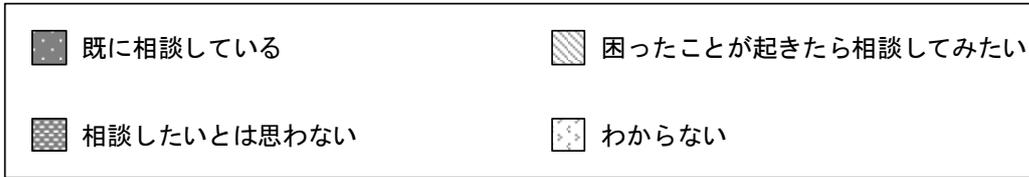


11. 相談者のプライバシーを守って活動している



Q 1 1. 民生委員に相談したいと思うか

あなたは、自分自身のこと、民生委員に相談したいと思いますか。
以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。



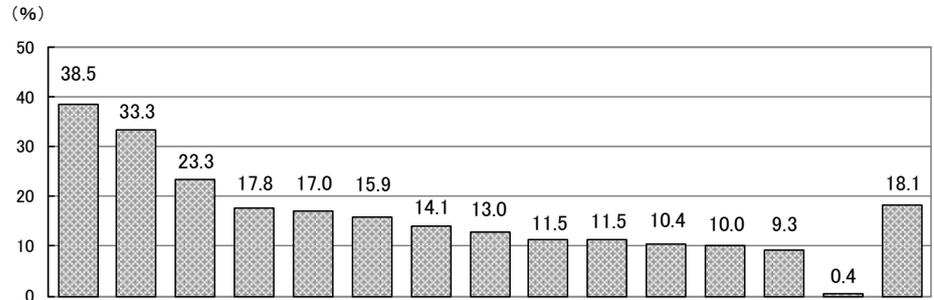
【全体結果】「困ったことが起きたら相談してみたい」が26%、「相談したいとは思わない」が45%であった。

◎性別で見ると、「困ったことが起きたら相談してみたい」は、男性（29%）が女性（24%）より5ポイント高かった。

(Q11で、「既に相談している」、「困ったことが起きたら相談してみたい」と回答した人が対象)

Q12. 民生委員に相談している、または今後相談してみたいと思う内容（複数回答）

あなたが、自分自身のことで、民生委員に相談している、または今後相談してみたいと思う内容は何か。以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



	高齢者や障害者に対する支援等に関する事	介護保険、要介護認定等に関する事	心身上の疾病・障害の予防及び治療、健康保険等に関する事	地域の危険箇所、生活環境等に関する事	年金、児童手当等に関する事	雇用、失業、派遣労働等に関する事	子育て、妊娠、出産等に関する事	生活費、就学援助制度等に関する事	子どもの教育、学校生活等に関する事	徘徊、引きこもり、家族関係等に関する事	借地、借家、家賃等に関する事	買い物、通院等の日常的な支援に関する事	子ども会、子どもの遊び場等に関する事	その他	わからない	
全体(n=270)	38.5	33.3	23.3	17.8	17.0	15.9	14.1	13.0	11.5	11.5	10.4	10.0	9.3	0.4	18.1	
性別	男性(n=147)	44.2	36.1	27.9	18.4	19.7	17.0	12.2	12.2	12.9	13.6	11.6	7.5	9.5	0.0	12.9
	女性(n=123)	31.7	30.1	17.9	17.1	13.8	14.6	16.3	13.8	9.8	8.9	8.9	13.0	8.9	0.8	24.4
年代別	18-29歳(n=51)	25.5	19.6	21.6	23.5	19.6	23.5	31.4	19.6	19.6	11.8	13.7	15.7	17.6	0.0	17.6
	30代 (n=53)	32.1	22.6	34.0	18.9	18.9	20.8	24.5	17.0	20.8	7.5	11.3	13.2	17.0	0.0	15.1
	40代 (n=55)	34.5	34.5	23.6	12.7	14.5	10.9	7.3	10.9	7.3	9.1	7.3	1.8	7.3	0.0	21.8
	50代 (n=49)	49.0	44.9	22.4	16.3	22.4	18.4	6.1	12.2	10.2	20.4	12.2	8.2	4.1	0.0	8.2
	60代 (n=62)	50.0	43.5	16.1	17.7	11.3	8.1	3.2	6.5	1.6	9.7	8.1	11.3	1.6	1.6	25.8
性・年代別	男性18-29歳(n=27)	37.0	25.9	29.6	25.9	33.3	22.2	25.9	22.2	22.2	14.8	18.5	14.8	18.5	0.0	11.1
	男性30代 (n=28)	32.1	17.9	35.7	14.3	17.9	21.4	21.4	10.7	21.4	10.7	17.9	7.1	17.9	0.0	14.3
	男性40代 (n=32)	37.5	50.0	31.3	15.6	21.9	9.4	9.4	12.5	9.4	9.4	9.4	0.0	6.3	0.0	9.4
	男性50代 (n=27)	51.9	37.0	25.9	18.5	22.2	22.2	3.7	11.1	11.1	22.2	3.7	11.1	3.7	0.0	7.4
	男性60代 (n=33)	60.6	45.5	18.2	18.2	6.1	12.1	3.0	6.1	3.0	12.1	9.1	6.1	3.0	0.0	21.2
	女性18-29歳(n=24)	12.5	12.5	12.5	20.8	4.2	25.0	37.5	16.7	16.7	8.3	8.3	16.7	16.7	0.0	25.0
	女性30代 (n=25)	32.0	28.0	32.0	24.0	20.0	20.0	28.0	24.0	20.0	4.0	4.0	20.0	16.0	0.0	16.0
	女性40代 (n=23)	30.4	13.0	13.0	8.7	4.3	13.0	4.3	8.7	4.3	8.7	4.3	4.3	8.7	0.0	39.1
	女性50代 (n=22)	45.5	54.5	18.2	13.6	22.7	13.6	9.1	13.6	9.1	18.2	22.7	4.5	4.5	0.0	9.1
	女性60代 (n=29)	37.9	41.4	13.8	17.2	17.2	3.4	3.4	6.9	0.0	6.9	6.9	17.2	0.0	3.4	31.0

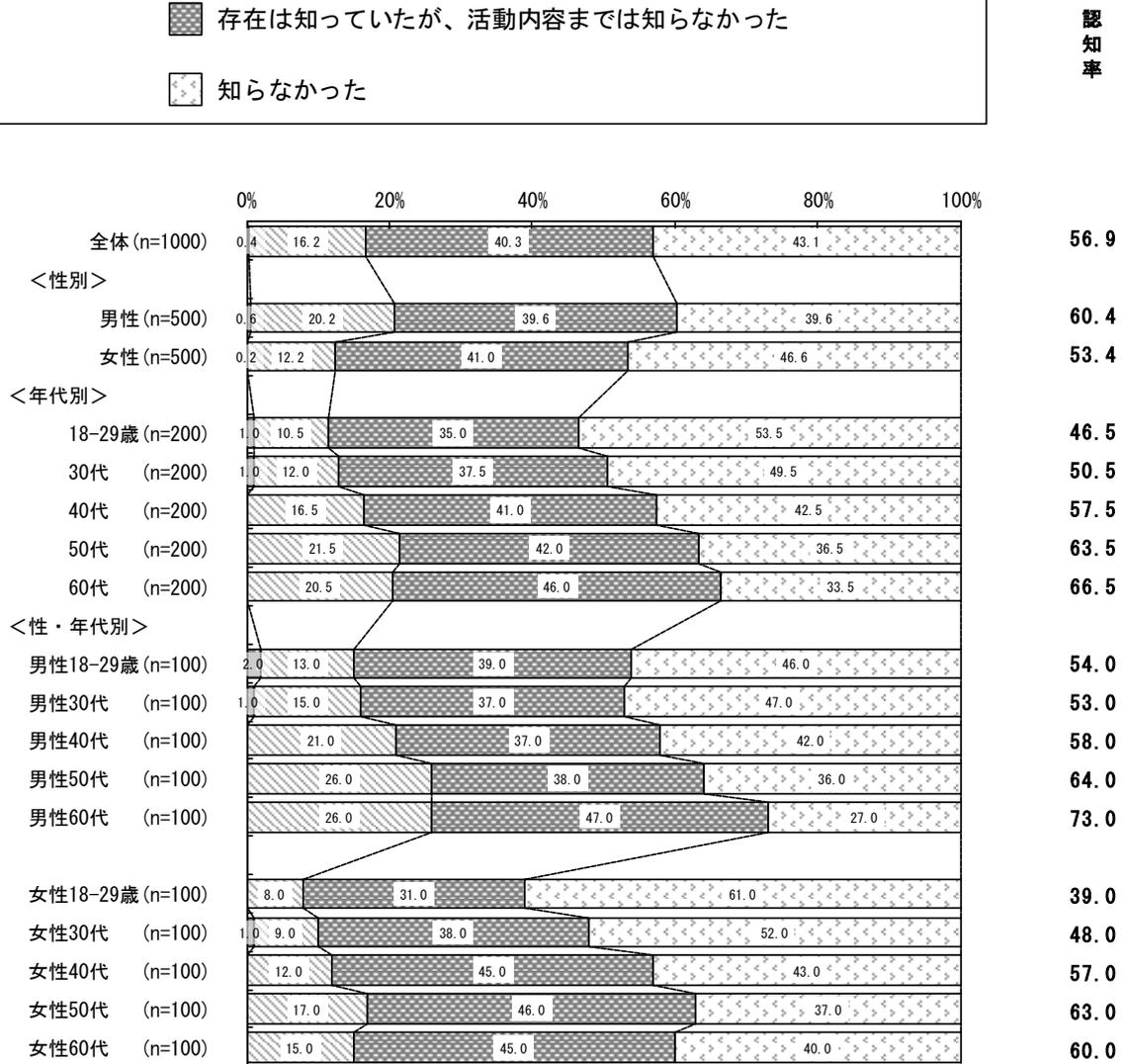
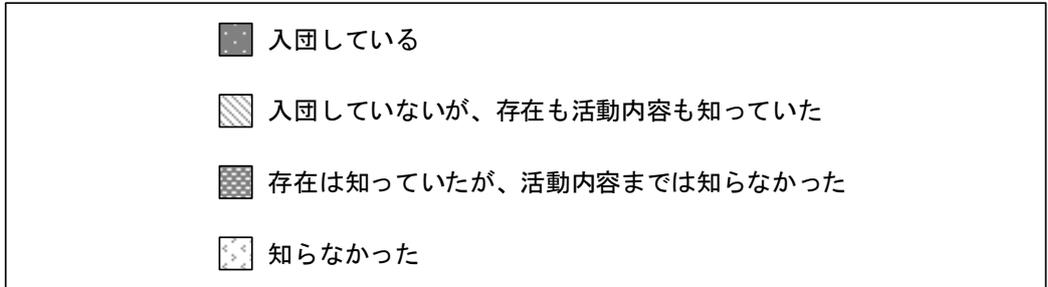
【全体結果】 民生委員に既に相談している、または相談したいと回答した人（270人）に相談する内容を聞いたところ、「高齢者や障害者に対する支援等に関する事」が39%で最も高く、「介護保険、要介護認定等に関する事」（33%）、「心身上の疾病・障害の予防及び治療、健康保険等に関する事」（23%）が続いた。

◎性別で見ると、「高齢者や障害者に対する支援等に関する事」、「心身上の疾病・障害の予防及び治療、健康保険等に関する事」は、男性が女性より10ポイント以上高かった。

【消防団に関するアンケート】

Q13. 消防団の認知

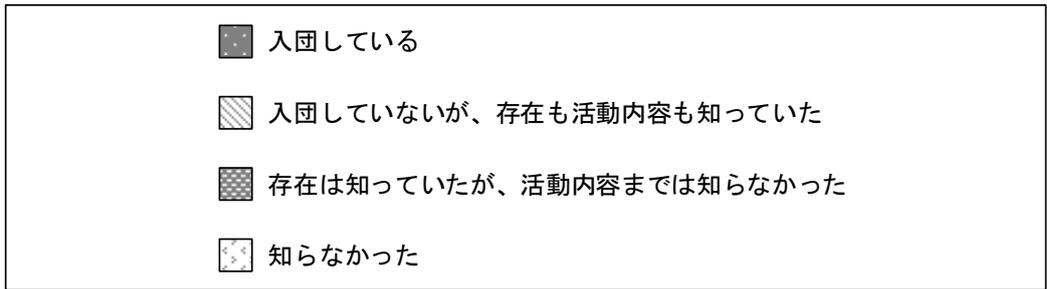
さいたま市内には、全ての地域に消防団があります。
 あなたは、あなたが住んでいる地域に消防団があることを知っていましたか。
 以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。



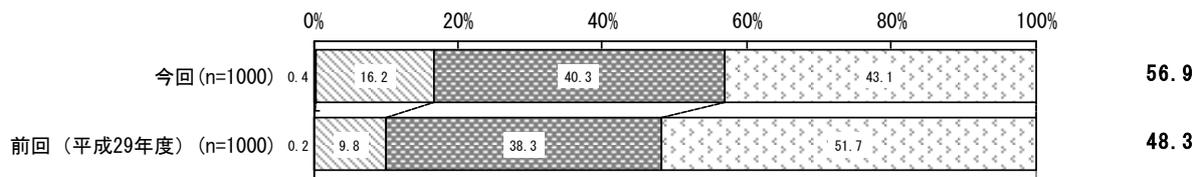
【全体結果】「入団している」(0%)と「入団していないが、存在も活動内容も知っていた」(16%)と「存在は知っていたが、活動内容までは知らなかった」(40%)を合わせた『認知率』は57%であった。

◎性別で見ると、『認知率』は、男性(60%)が女性(53%)より7ポイント高かった。
 ◎年代別で見ると、『認知率』は、年代が上がるにつれ高くなり、60代で67%となった。

Q 1 3. 消防団の認知（経年比較）



認知率

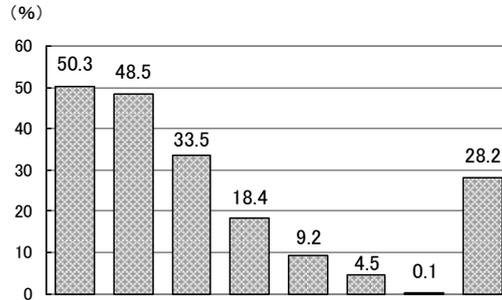


【比較結果】過去の同様の調査と比較すると、『認知率』は、前回の調査結果（48%）より9ポイント増加した。

Q14. 消防団に期待する活動内容（複数回答）

あなたは、消防団にどのような活動を期待しますか。

以下の中から、あなたが特に期待するものを3つまで選んでください。



	災害発生時の消火・救助・避難誘導	火災時の消火・救助	自主防災組織の指導・連携、地域の防災リーダーとしての役割	火災予防などの広報活動、地域住民への防災意識の普及	地域のイベントの際の警戒	地域の活性化への寄与	その他	特にない/わからない	
全体(n=1000)	50.3	48.5	33.5	18.4	9.2	4.5	0.1	28.2	
性別	男性(n=500)	46.4	48.8	30.8	15.0	9.6	6.2	0.0	29.8
	女性(n=500)	54.2	48.2	36.2	21.8	8.8	2.8	0.2	26.6
年代別	18-29歳(n=200)	46.5	46.0	28.0	11.5	11.0	4.5	0.0	35.5
	30代 (n=200)	47.5	48.5	23.0	14.5	10.5	7.0	0.0	33.5
	40代 (n=200)	49.5	52.0	34.0	15.5	6.5	5.0	0.0	27.5
	50代 (n=200)	52.5	45.0	38.5	22.5	9.5	3.5	0.5	26.5
	60代 (n=200)	55.5	51.0	44.0	28.0	8.5	2.5	0.0	18.0
性別・年代別	男性18-29歳(n=100)	50.0	46.0	36.0	10.0	12.0	5.0	0.0	33.0
	男性30代 (n=100)	40.0	45.0	14.0	13.0	10.0	10.0	0.0	40.0
	男性40代 (n=100)	44.0	55.0	26.0	13.0	7.0	7.0	0.0	25.0
	男性50代 (n=100)	47.0	49.0	38.0	17.0	11.0	6.0	0.0	26.0
	男性60代 (n=100)	51.0	49.0	40.0	22.0	8.0	3.0	0.0	25.0
	女性18-29歳(n=100)	43.0	46.0	20.0	13.0	10.0	4.0	0.0	38.0
	女性30代 (n=100)	55.0	52.0	32.0	16.0	11.0	4.0	0.0	27.0
	女性40代 (n=100)	55.0	49.0	42.0	18.0	6.0	3.0	0.0	30.0
	女性50代 (n=100)	58.0	41.0	39.0	28.0	8.0	1.0	1.0	27.0
	女性60代 (n=100)	60.0	53.0	48.0	34.0	9.0	2.0	0.0	11.0

【全体結果】「災害発生時の消火・救助・避難誘導」が50%で最も高く、「火災時の消火・救助」(49%)、「自主防災組織の指導・連携、地域の防災リーダーとしての役割」(34%)が続いた。

○性別で見ると、「災害発生時の消火・救助・避難誘導」は、女性(54%)が男性(46%)より8ポイント高かった。

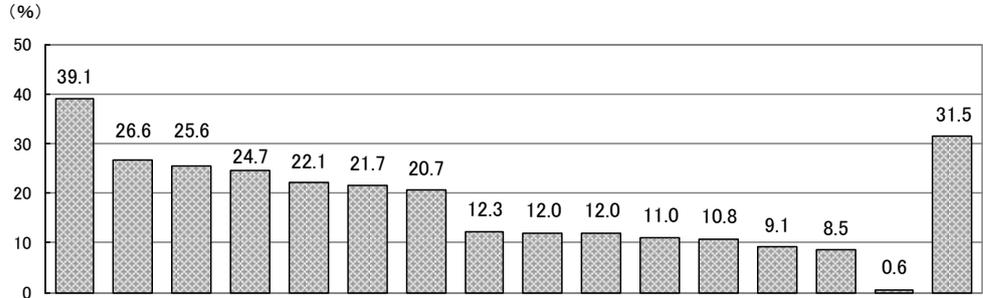
○年代別で見ると、「火災予防などの広報活動、地域住民への防災意識の普及」は、年代が上がるにつれ高くなり、60代で28%となった。

○性別・年代別で見ると、「災害発生時の消火・救助・避難誘導」は、女性では、年代が上がるにつれ高くなり、60代で60%となった。

(Q13で、「入団している」以外を回答した人が対象)

Q15. 消防団に入団するとしたら気になること(複数回答)

あなたが、消防団に入団するとしたら、どのようなことが気になりますか。
以下の中から、あなたが気になるものをすべて選んでください。



	体力面で火事・災害現場で活動する自信がない	危険を伴う仕事なので、けがなどが心配である	仕事・家事・学業と両立できるかわからない	消防団の活動に必要な知識がない	他人の生命・身体・財産へ責任が生じてしまうか不安である	訓練や会議が多そうである	火事・災害時の緊急の呼び出しが多そうである	消防署との役割分担(消防団の活動範囲)がわからない	年齢などの入団条件がわからない	消防団に知り合いがない	簡単に退団できるか心配である	地域とつながりがない	男性の団員が多い	報酬が少ない	その他	特になし/わからない
全体(n=996)	39.1	26.6	25.6	24.7	22.1	21.7	20.7	12.3	12.0	12.0	11.0	10.8	9.1	8.5	0.6	31.5
性別																
男性(n=497)	34.6	25.2	22.7	22.3	18.7	21.3	19.5	11.9	11.1	11.1	11.3	9.1	2.2	9.5	0.6	34.0
女性(n=499)	43.5	28.1	28.5	27.1	25.5	22.0	21.8	12.8	13.0	13.0	10.8	12.6	16.0	7.6	0.6	29.1
年代別																
18-29歳(n=198)	39.4	34.8	30.3	26.8	29.8	22.2	23.2	10.6	8.1	12.6	11.6	11.6	9.6	11.1	1.0	29.3
30代(n=198)	33.8	32.3	28.8	26.3	21.2	24.2	22.7	15.2	11.1	13.6	15.2	14.1	10.6	9.1	0.5	34.8
40代(n=200)	38.0	24.0	26.5	24.5	19.0	24.0	16.5	15.5	9.5	12.5	12.5	9.0	11.0	10.0	0.0	32.0
50代(n=200)	30.5	20.5	25.0	24.0	19.5	20.0	19.5	10.0	10.5	11.5	8.5	7.5	8.0	6.5	0.0	35.0
60代(n=200)	53.5	21.5	17.5	22.0	21.0	18.0	21.5	10.5	21.0	10.0	7.5	12.0	6.5	6.0	1.5	26.5
性・年代別																
男性18-29歳(n=98)	37.8	32.7	29.6	25.5	33.7	26.5	28.6	14.3	8.2	13.3	16.3	11.2	4.1	14.3	2.0	33.7
男性30代(n=99)	26.3	28.3	21.2	26.3	17.2	22.2	17.2	15.2	10.1	14.1	11.1	14.1	4.0	10.1	1.0	39.4
男性40代(n=100)	31.0	23.0	25.0	18.0	16.0	20.0	12.0	13.0	8.0	8.0	13.0	4.0	0.0	11.0	0.0	33.0
男性50代(n=100)	27.0	24.0	24.0	24.0	14.0	21.0	22.0	11.0	10.0	13.0	10.0	7.0	2.0	8.0	0.0	34.0
男性60代(n=100)	51.0	18.0	14.0	18.0	13.0	17.0	18.0	6.0	19.0	7.0	6.0	9.0	1.0	4.0	0.0	30.0
女性18-29歳(n=100)	41.0	37.0	31.0	28.0	26.0	18.0	18.0	7.0	8.0	12.0	7.0	12.0	15.0	8.0	0.0	25.0
女性30代(n=99)	41.4	36.4	36.4	26.3	25.3	26.3	28.3	15.2	12.1	13.1	19.2	14.1	17.2	8.1	0.0	30.3
女性40代(n=100)	45.0	25.0	28.0	31.0	22.0	28.0	21.0	18.0	11.0	17.0	12.0	14.0	22.0	9.0	0.0	31.0
女性50代(n=100)	34.0	17.0	26.0	24.0	25.0	19.0	17.0	9.0	11.0	10.0	7.0	8.0	14.0	5.0	0.0	36.0
女性60代(n=100)	56.0	25.0	21.0	26.0	29.0	19.0	25.0	15.0	23.0	13.0	9.0	15.0	12.0	8.0	3.0	23.0

【全体結果】 現在消防団に入団していない人(996人)に入団するとしたら気になることを聞いたところ、「体力面で火事・災害現場で活動する自信がない」が39%で最も高く、「危険を伴う仕事なので、けがなどが心配である」(27%)、「仕事・家事・学業と両立できるかわからない」(26%)が続いた。

◎性別で見ると、「体力面で火事・災害現場で活動する自信がない」は、女性(44%)が男性(35%)より9ポイント高かった。

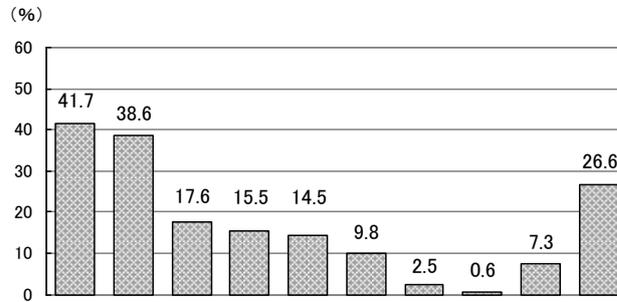
◎年代別で見ると、「体力面で火事・災害現場で活動する自信がない」は、60代が54%で最も高かった。また、「危険を伴う仕事なので、けがなどが心配である」、「仕事・家事・学業と両立できるかわからない」、「消防団の活動に必要な知識がない」は、年代が下がるにつれ高くなる傾向があった。

【ベンチに関するアンケート】

Q16. どこにベンチがあると利用したいと思うか（複数回答）

あなたは、道路上(公園や施設内を除く)にベンチが設置されていた場合、どこにベンチがあると利用したいと思いますか。

以下の中から、あてはまるものを3つまで選んでください。



	バス停	駅前広場(バス停やタクシー乗り場を除く)	商店街	タクシー乗り場	歩道	生活道路	交差点	その他	特にない	ベンチを利用しない	
全体(n=1000)	41.7	38.6	17.6	15.5	14.5	9.8	2.5	0.6	7.3	26.6	
性別	男性(n=500)	35.8	41.4	17.6	14.6	17.0	12.2	4.0	0.6	8.4	27.0
	女性(n=500)	47.6	35.8	17.6	16.4	12.0	7.4	1.0	0.6	6.2	26.2
年代別	18-29歳(n=200)	46.5	52.0	11.5	21.0	14.5	10.0	1.5	0.5	4.0	22.5
	30代(n=200)	37.5	36.5	17.5	13.5	13.0	7.0	4.0	0.5	5.5	34.5
	40代(n=200)	36.0	33.0	19.0	12.5	11.5	11.0	2.0	1.0	8.5	28.5
	50代(n=200)	38.5	36.5	17.5	15.5	16.0	10.5	4.0	0.5	9.0	26.5
	60代(n=200)	50.0	35.0	22.5	15.0	17.5	10.5	1.0	0.5	9.5	21.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	45.0	57.0	13.0	23.0	18.0	12.0	3.0	1.0	6.0	20.0
	男性30代(n=100)	31.0	34.0	16.0	16.0	15.0	10.0	4.0	1.0	5.0	41.0
	男性40代(n=100)	32.0	39.0	20.0	9.0	14.0	12.0	4.0	1.0	11.0	25.0
	男性50代(n=100)	31.0	42.0	19.0	12.0	16.0	15.0	7.0	0.0	11.0	25.0
	男性60代(n=100)	40.0	35.0	20.0	13.0	22.0	12.0	2.0	0.0	9.0	24.0
	女性18-29歳(n=100)	48.0	47.0	10.0	19.0	11.0	8.0	0.0	0.0	2.0	25.0
	女性30代(n=100)	44.0	39.0	19.0	11.0	11.0	4.0	4.0	0.0	6.0	28.0
	女性40代(n=100)	40.0	27.0	18.0	16.0	9.0	10.0	0.0	1.0	6.0	32.0
	女性50代(n=100)	46.0	31.0	16.0	19.0	16.0	6.0	1.0	1.0	7.0	28.0
	女性60代(n=100)	60.0	35.0	25.0	17.0	13.0	9.0	0.0	1.0	10.0	18.0

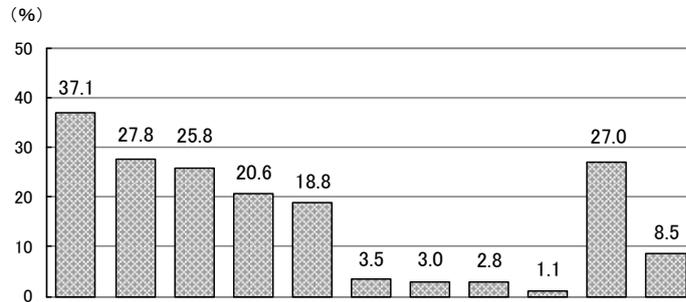
【全体結果】「バス停」が42%で最も高く、「駅前広場(バス停やタクシー乗り場を除く)」(39%)が続いた。

◎性別で見ると、「バス停」は、女性(48%)が男性(36%)より12ポイント高かった。
◎年代別で見ると、「駅前広場(バス停やタクシー乗り場を除く)」は、18-29歳(52%)のみ5割を超えた。

Q17. どのような時にベンチを利用するか（複数回答）

あなたは、どのような時にベンチを利用しますか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



	待ち合わせ時	公共交通機関の待ち時間	散歩中	飲食をする時	日常の買物の途中	地域の人と交流をする時	信号待ち	喫煙中	その他	ベンチを利用しない	わからない	
全体(n=1000)	37.1	27.8	25.8	20.6	18.8	3.5	3.0	2.8	1.1	27.0	8.5	
性別	男性(n=500)	36.4	26.0	28.8	19.6	16.0	3.6	4.0	4.0	0.8	26.2	9.0
	女性(n=500)	37.8	29.6	22.8	21.6	21.6	3.4	2.0	1.6	1.4	27.8	8.0
年代別	18-29歳(n=200)	50.5	30.5	26.5	30.0	25.0	2.5	6.0	3.5	0.5	17.0	10.0
	30代 (n=200)	32.0	23.5	24.5	19.0	15.0	3.5	2.5	3.0	0.0	33.5	9.0
	40代 (n=200)	30.5	23.0	23.0	20.5	19.5	4.0	2.0	3.5	0.0	26.0	13.0
	50代 (n=200)	37.5	30.5	23.5	20.5	15.0	2.5	2.0	2.5	3.5	27.5	6.5
	60代 (n=200)	35.0	31.5	31.5	13.0	19.5	5.0	2.5	1.5	1.5	31.0	4.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	46.0	32.0	30.0	32.0	26.0	5.0	10.0	4.0	0.0	20.0	9.0
	男性30代 (n=100)	33.0	24.0	24.0	20.0	12.0	1.0	3.0	4.0	0.0	31.0	12.0
	男性40代 (n=100)	36.0	19.0	25.0	20.0	14.0	5.0	3.0	6.0	0.0	26.0	10.0
	男性50代 (n=100)	36.0	29.0	26.0	19.0	15.0	2.0	3.0	4.0	3.0	22.0	9.0
	男性60代 (n=100)	31.0	26.0	39.0	7.0	13.0	5.0	1.0	2.0	1.0	32.0	5.0
	女性18-29歳(n=100)	55.0	29.0	23.0	28.0	24.0	0.0	2.0	3.0	1.0	14.0	11.0
	女性30代 (n=100)	31.0	23.0	25.0	18.0	18.0	6.0	2.0	2.0	0.0	36.0	6.0
	女性40代 (n=100)	25.0	27.0	21.0	21.0	25.0	3.0	1.0	1.0	0.0	26.0	16.0
	女性50代 (n=100)	39.0	32.0	21.0	22.0	15.0	3.0	1.0	1.0	4.0	33.0	4.0
	女性60代 (n=100)	39.0	37.0	24.0	19.0	26.0	5.0	4.0	1.0	2.0	30.0	3.0

【全体結果】「待ち合わせ時」が37%で最も高く、「公共交通機関の待ち時間」(28%)、「散歩中」(26%)が続いた。

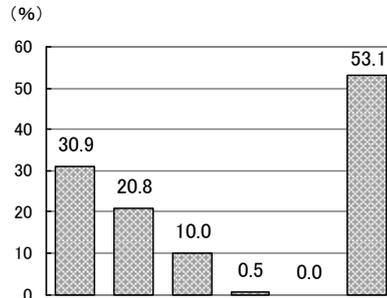
◎性別で見ると、「散歩中」は、男性(29%)が女性(23%)より6ポイント高く、「日常の買物の途中」は、女性(22%)が男性(16%)より6ポイント高かった。

◎年代別で見ると、「待ち合わせ時」は、18-29歳(51%)のみ5割を超えた。

【水道に関する手続き・問い合わせに関するアンケート】

Q18. 手続き・問い合わせをしたことがある方法（複数回答）

あなたは、水道に関して、どのような方法で手続き・問い合わせをしたことがありますか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



		電話	インターネット	水道局または区役所等の窓口	ファックス	その他	/覚えていない
全体(n=1000)		30.9	20.8	10.0	0.5	0.0	53.1
性別	男性(n=500)	31.8	26.0	11.6	0.8	0.0	47.8
	女性(n=500)	30.0	15.6	8.4	0.2	0.0	58.4
年代別	18-29歳(n=200)	32.5	27.5	6.0	1.0	0.0	51.5
	30代 (n=200)	31.0	26.5	7.5	0.5	0.0	49.5
	40代 (n=200)	29.5	22.0	12.0	0.5	0.0	52.5
	50代 (n=200)	29.0	17.5	11.0	0.5	0.0	55.0
	60代 (n=200)	32.5	10.5	13.5	0.0	0.0	57.0
性・年代別	男性18-29歳(n=100)	33.0	32.0	8.0	2.0	0.0	48.0
	男性30代 (n=100)	33.0	34.0	10.0	0.0	0.0	40.0
	男性40代 (n=100)	30.0	25.0	17.0	1.0	0.0	44.0
	男性50代 (n=100)	30.0	25.0	13.0	1.0	0.0	51.0
	男性60代 (n=100)	33.0	14.0	10.0	0.0	0.0	56.0
	女性18-29歳(n=100)	32.0	23.0	4.0	0.0	0.0	55.0
	女性30代 (n=100)	29.0	19.0	5.0	1.0	0.0	59.0
	女性40代 (n=100)	29.0	19.0	7.0	0.0	0.0	61.0
	女性50代 (n=100)	28.0	10.0	9.0	0.0	0.0	59.0
	女性60代 (n=100)	32.0	7.0	17.0	0.0	0.0	58.0

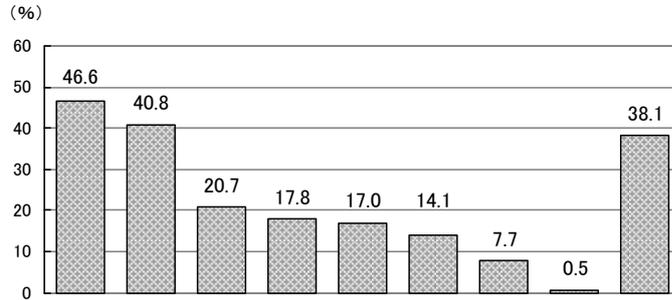
【全体結果】「電話」が31%で最も高く、「インターネット」(21%)、「水道局または区役所等の窓口」(10%)が続いた。

◎性別で見ると、「インターネット」は、男性(26%)が女性(16%)より10ポイント高かった。

◎年代別で見ると、「インターネット」は、年代が下がるにつれ高くなり、18-29歳で28%となった。

Q19. インターネットができれば便利だと思うこと（複数回答）

水道に関する手続き・問い合わせ等で、インターネットができれば便利だと思うことは何ですか。以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



	水道料金の支払方法の変更	使用水量・請求金額の確認	ペーパーレス請求書の配信	水道使用者名（給水契約者名義）の変更	請求書等の送付先の変更	請求書の再発行手続き	案内会話プログラム（AIを活用した自動問い合わせ）	その他	特になし	
全体(n=1000)	46.6	40.8	20.7	17.8	17.0	14.1	7.7	0.5	38.1	
性別	男性(n=500)	46.6	40.2	23.6	18.0	17.2	14.4	10.2	0.6	35.0
	女性(n=500)	46.6	41.4	17.8	17.6	16.8	13.8	5.2	0.4	41.2
年代別	18-29歳(n=200)	48.5	44.0	22.5	14.5	17.0	15.0	9.0	0.0	35.0
	30代(n=200)	56.0	42.5	28.5	21.0	23.5	22.0	11.5	0.0	37.0
	40代(n=200)	47.0	38.0	23.0	18.0	16.0	11.0	7.5	0.5	37.5
	50代(n=200)	41.5	37.5	17.0	16.0	16.0	12.5	6.0	1.5	41.5
	60代(n=200)	40.0	42.0	12.5	19.5	12.5	10.0	4.5	0.5	39.5
性別・年代別	男性18-29歳(n=100)	54.0	46.0	30.0	21.0	21.0	20.0	16.0	0.0	27.0
	男性30代(n=100)	55.0	38.0	29.0	19.0	20.0	19.0	12.0	0.0	40.0
	男性40代(n=100)	48.0	37.0	23.0	13.0	12.0	8.0	8.0	0.0	32.0
	男性50代(n=100)	42.0	38.0	19.0	17.0	17.0	11.0	8.0	2.0	36.0
	男性60代(n=100)	34.0	42.0	17.0	20.0	16.0	14.0	7.0	1.0	40.0
	女性18-29歳(n=100)	43.0	42.0	15.0	8.0	13.0	10.0	2.0	0.0	43.0
	女性30代(n=100)	57.0	47.0	28.0	23.0	27.0	25.0	11.0	0.0	34.0
	女性40代(n=100)	46.0	39.0	23.0	23.0	20.0	14.0	7.0	1.0	43.0
	女性50代(n=100)	41.0	37.0	15.0	15.0	15.0	14.0	4.0	1.0	47.0
	女性60代(n=100)	46.0	42.0	8.0	19.0	9.0	6.0	2.0	0.0	39.0

【全体結果】「水道料金の支払方法の変更」が47%で最も高く、「使用水量・請求金額の確認」(41%)が続いた。

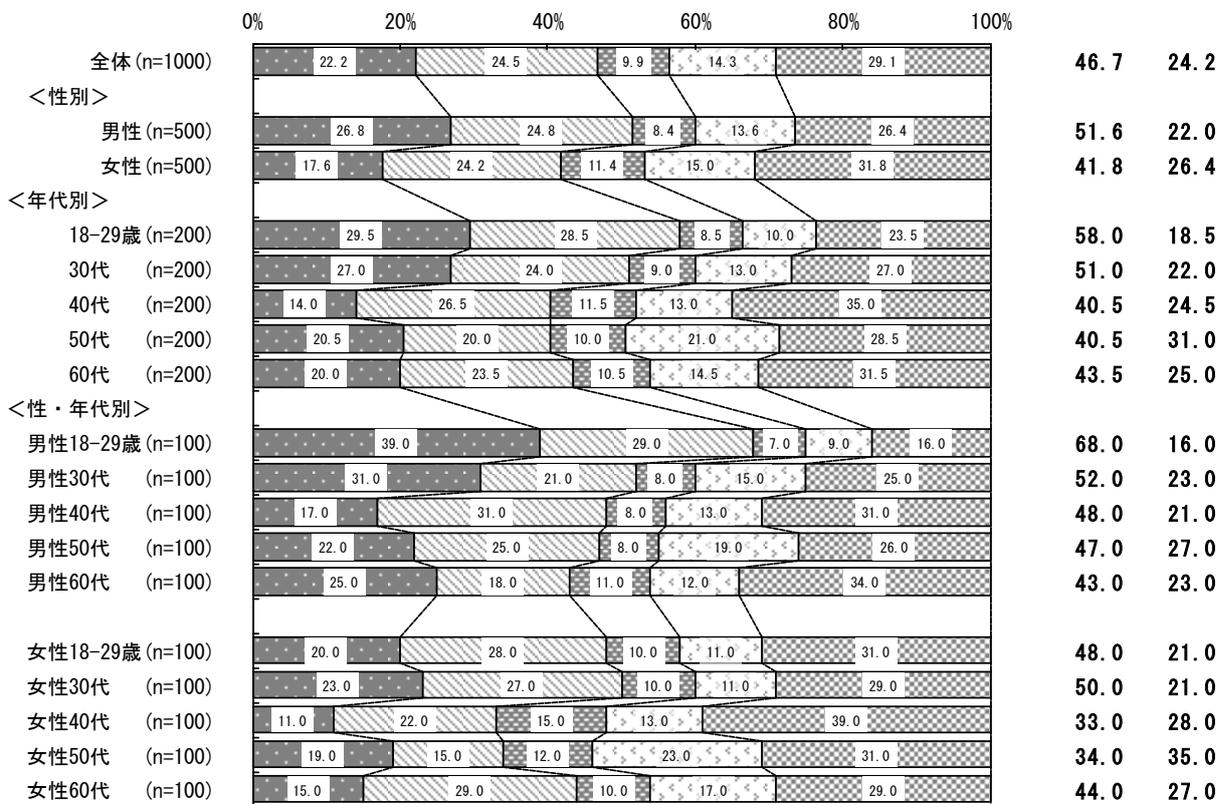
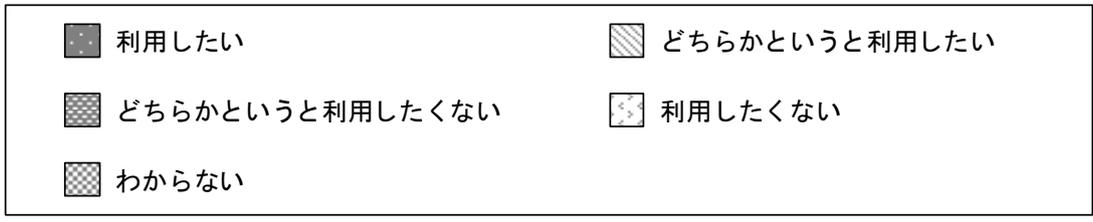
◎性別で見ると、「ペーパーレス請求書の配信」は、男性（24%）が女性（18%）より6ポイント高かった。

◎年代別で見ると、多くの項目で、30代が最も高かった。

Q20. 水道局が提供するスマートフォンアプリがあれば、利用したいと思うか

あなたは、水道局が提供するスマートフォンアプリで、水道の使用水量・請求金額の確認や、水道料金のキャッシュレス決済(「PayPay」等とのアプリ連携による支払い)ができるものがあれば、利用したいと思いませんか。

なお、スマートフォンアプリはデータ通信料を除き、無料で利用できるものとします。



【全体結果】「利用したい」(22%)と「どちらかという利用したい」(25%)を合わせた『利用したい (計)』は、47%であった。

◎性別で見ると、『利用したい (計)』は、男性 (52%) が女性 (42%) より10ポイント高かった。

◎性・年代別で見ると、『利用したい (計)』は、男性では、年代が下がるにつれ高くなり、18-29歳で68%となった。

3 調査票（アンケート画面）

F1

あなたのお住まいの地域をお知らせください。

▼**SC2**

あなたの性別と年齢をお答えください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 ○ 男性 18歳未満 | 9 ○ 女性 18歳未満 |
| 2 ○ 男性 18～29歳 | 10 ○ 女性 18～29歳 |
| 3 ○ 男性 30～39歳 | 11 ○ 女性 30～39歳 |
| 4 ○ 男性 40～49歳 | 12 ○ 女性 40～49歳 |
| 5 ○ 男性 50～59歳 | 13 ○ 女性 50～59歳 |
| 6 ○ 男性 60～69歳 | 14 ○ 女性 60～69歳 |
| 7 ○ 男性 70～79歳 | 15 ○ 女性 70～79歳 |
| 8 ○ 男性 80歳以上 | 16 ○ 女性 80歳以上 |

SC1

あなたのお住まいをお答えください。

- 1 ○ さいたま市西区
- 2 ○ さいたま市北区
- 3 ○ さいたま市大宮区
- 4 ○ さいたま市見沼区
- 5 ○ さいたま市中央区
- 6 ○ さいたま市桜区
- 7 ○ さいたま市浦和区
- 8 ○ さいたま市南区
- 9 ○ さいたま市緑区
- 10 ○ さいたま市岩槻区
- 11 ○ その他(具体的に)

「さいたま市のテレビ広報番組」について、質問します。

さいたま市役所では、情報発信の取組の1つとして、テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」をテレビ埼玉で放送しています。

令和2年4月からは、ザ・たちさん、yukaさんをレポーターにむかえ、行政情報をはじめ、イベントやグルメ、街の様子など、さいたま市内のさまざまな情報を15分でお伝えしています。

※詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

■さいたま市ホームページ「テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」

(<https://www.city.saitama.jp/006/014/013/001/008/p059233.html>)

Q1

あなたが、さいたま市のテレビ広報番組について知っていたことを、以下の中から、**すべて**選んでください。(いくつでも)

- 1 テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」が「テレビ埼玉」で放映されていること
- 2 テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」がインターネットで見られること
- 3 上記2つは知らなかったが、テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」という番組があることを知っていた
- 4 どれも知らなかった

Q2

あなたは、テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」のことを、これまで何によって見たり聞いたりしましたか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

- 1 テレビのコマーシャル
- 2 ラジオのコマーシャル
- 3 テレビに表示されるテレビ番組表
- 4 「市報さいたま」
- 5 新聞の広告記事
- 6 新聞や雑誌のテレビ番組表
- 7 その他の雑誌・書籍
- 8 市のホームページ
- 9 市のツイッター・フェイスブック
- 10 市公式YouTubeチャンネル
- 11 インターネット上のテレビ番組表
- 12 その他のインターネット
- 13 区役所の電光掲示板
- 14 大宮駅の電光掲示板
- 15 さいたま新都心駅の電光掲示板
- 16 家族や知人の話
- 17 たまたま番組を見た
- 18 その他(具体的に)
- 19 覚えていない/わからない

Q3

テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」は、市公式YouTubeチャンネルで配信しています。

あなたは、YouTubeで「のびのびシティさいたま市」の配信動画を見たいと思いますか。

- 1 見たいと思う/すでに見ている
- 2 見たいとは思わない
- 3 YouTubeを利用していない
- 4 わからない

Q4

あなたが、「のびのびシティさいたま市」の配信動画を見たいと思わない理由は何ですか。以下のの中から、あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

- 1 興味のある内容でない
- 2 動画の時間(15分)が長い
- 3 行政の動画は堅いイメージがある
- 4 配信動画は見ないが、テレビ埼玉での放送(毎週日曜日10時45分～)を見ている
- 5 その他 (具体的に)
- 6 特に理由はない/何となく

Q5

「のびのびシティさいたま市」で放送されたテーマの中で、あなたが見たいと思うものはありますか。

以下の、令和2年度に放送した主なテーマの中から、あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

- 1 まちなかにあるアート作品の特集(文化・芸術)
- 2 実験やおもちゃ作りなど自宅で楽しむ教育コンテンツの紹介(教育・学び)
- 3 さいたま市ゆかりの著名人とそれにかかわる歴史文化の紹介(歴史・文化)
- 4 各区の見どころや魅力の紹介(地域の魅力)
- 5 熱中症対策や食中毒など季節に合わせた健康情報(健康情報)
- 6 下水・雨水の処理や下水管の詰まりを防ぐ方法の紹介(暮らしに関する情報)
- 7 地元のJリーグチームの紹介とスポーツまちづくり(スポーツ)
- 8 市内の歴史を紹介しながらの街歩き(歴史・文化・まちづくり)
- 9 宇宙をテーマに宇宙飛行士若田さんに話を伺う(科学)
- 10 鉄道をテーマに大宮駅周辺を紹介する(鉄道・歴史)
- 11 季節に合わせたおすすめスポットの紹介(地域の魅力)
- 12 特に興味があるものはない

「さいたま市総合振興計画」について、質問します。

「さいたま市総合振興計画」(2030さいたま輝く未来と希望(ゆめ)のまちプラン)

とは、都市づくりの将来像を示し、市政を総合的・計画的に運営するために、各分野における政策や施策の方向性を定める市の最も基本となる計画です。

※詳しくは以下のサイトをご覧ください。

■さいたま市ホームページ「総合振興計画とは」

(<https://www.city.saitama.jp/006/007/004/011/004/p036935.html>)

Q6

あなたは、「さいたま市総合振興計画」を知っていましたか。

- 1 内容まである程度知っていた
- 2 名前は知っていた
- 3 知らなかった

「2030さいたま輝く未来と希望(ゆめ)のまちプラン」(さいたま市総合振興計画)は、「2020さいたま希望のまちプラン」の計画期間が令和2(2020)年度末をもって満了となることに伴い、新たな計画として令和3年3月に策定されました。

Q7

あなたは、「2030さいたま輝く未来と希望(ゆめ)のまちプラン」(さいたま市総合振興計画)が、令和3年4月から新たにスタートした計画であることを知っていましたか。

- 1 知っていたし、以前の総合振興計画も知っていた
- 2 知っていたが、以前の総合振興計画は知らなかった
- 3 知らなかった

Q8

あなたは、「2030さいたま輝く未来と希望(ゆめ)のまちプラン」(さいたま市総合振興計画)のことを、何で知りましたか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

- 1 市ホームページ
- 2 「市報さいたま」
- 3 市のその他の情報誌(紙)・冊子
- 4 ポスター・リーフレットなど
- 5 市・区役所の窓口などで実物を手に取った・見かけた
- 6 その他(具体的に)
- 7 覚えていない/わからない

「民生委員・児童委員」について、質問します。

民生委員とは、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、児童福祉法に定める児童委員を兼ねています。給与の支給はなく、地域住民から社会福祉にかかわる相談に応じ、支援を行う無償のボランティアです。
民生委員・児童委員(以下、民生委員という)は、住民の良き相談相手として、地域住民の抱える様々な福祉の問題、生活上の悩み等について相談に応じ、援助を必要とする人が福祉サービスを利用するために必要な情報の提供や援助を行う、住民と行政のつなぎ役を担っています。

Q9

あなたは、民生委員を知っていましたか。

- 1 民生委員の存在も活動内容も知っていた
- 2 民生委員の存在は知っていたが、活動内容は知らなかった
- 3 民生委員の存在も活動内容も知らなかった

Q10

あなたは、民生委員にどのようなイメージを持っていますか。
 以下の中から、1～11のそれぞれ、もっとも近いものを1つずつ選んでください。
 (それぞれひとつずつ)

		あてはまる	どちらかともいえない	どちらかともいえない	あてはまらない	わからない
		1	2	3	4	5
1	生活経験が豊富で頼りになる	1○	2○	3○	4○	5○
2	公平・平等な姿勢をもっている	1○	2○	3○	4○	5○
3	地域の実情をよく知っている	1○	2○	3○	4○	5○
4	地域にとって重要な存在	1○	2○	3○	4○	5○
5	気軽に相談に行ける身近な存在	1○	2○	3○	4○	5○
6	信頼感がもてる存在	1○	2○	3○	4○	5○
7	やりがいを持って活動している	1○	2○	3○	4○	5○
8	多くの時間を割いて活動し、大変である	1○	2○	3○	4○	5○
9	幅広い世代の相談に応じている	1○	2○	3○	4○	5○
10	複雑で多様な内容の相談に応じている	1○	2○	3○	4○	5○
11	相談者のプライバシーを守って活動している	1○	2○	3○	4○	5○

Q11

あなたは、自分自身のことで、民生委員に相談したいと思いませんか。
以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 既に相談している
- 2 困ったことが起きたら相談してみたい
- 3 相談したいとは思わない
- 4 わからない

Q12

あなたが、自分自身のことで、民生委員に相談している、または今後相談してみたいと思う内容は何かですか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

- 1 高齢者や障害者に対する支援等に関する事
- 2 介護保険、要介護認定等に関する事
- 3 心身上の疾病・障害の予防及び治療、健康保険等に関する事
- 4 子育て、妊娠、出産等に関する事
- 5 子ども会、子どもの遊び場等に関する事
- 6 子どもの教育、学校生活等に関する事
- 7 生活費、就学援助制度等に関する事
- 8 年金、児童手当等に関する事
- 9 雇用、失業、派遣労働等に関する事
- 10 徘徊、引きこもり、家族関係等に関する事
- 11 借地、借家、家賃等に関する事
- 12 地域の危険箇所、生活環境等に関する事
- 13 買い物、通院等の日常的な支援に関する事
- 14 その他
- 15 わからない

「消防団」について、質問します。

消防団は、その地域に「住んでいる」人または「働いている」人によって構成される市町村の消防機関です。さいたま市の消防団は、66分団、定員1432人により組織されています。活動内容は、火災による消火活動をはじめ、風水害・震災時などの活動や、催物の警戒、住宅用火災警報器の設置促進などの火災予防広報などを行っています。また、各種の災害に対応できるよう、計画的に訓練や研修を行い、知識、技術の向上に努め、日夜地域の安心安全を守っています。

※詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

■さいたま市ホームページ「消防団の概要」

(<https://www.city.saitama.jp/001/011/014/006/syouboudan.html>)

Q13

さいたま市内には、全ての地域に消防団があります。
あなたは、あなたが住んでいる地域に消防団があることを知っていましたか。
以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 入団している
- 2 入団していないが、存在も活動内容も知っていた
- 3 存在は知っていたが、活動内容までは知らなかった
- 4 知らなかった

Q14

あなたは、消防団にどのような活動を期待しますか。
以下の中から、あなたが特に期待するものを3つまで選んでください。(3つまで)

- 1 火災時の消火・救助
- 2 災害発生時の消火・救助・避難誘導
- 3 自主防災組織の指導・連携、地域の防災リーダーとしての役割
- 4 火災予防などの広報活動、地域住民への防災意識の普及
- 5 地域のイベントの際の警戒
- 6 地域の活性化への寄与
- 7 その他(具体的に)
- 8 特にない/わからない

消防団員の年齢層は幅広く、会社員、自営業者、学生など、様々な人が参加しています。
消防団の入団資格は以下の通りです。
・市内に居住、在勤、在学している方
・年齢18歳以上で、健康な方(男性・女性を問いません)

※詳しくは、以下のサイトをご覧ください。
■さいたま市ホームページ「消防団員を募集しています」
(<https://www.city.saitama.jp/001/011/014/006/p007832.html>)

Q15

あなたが、消防団に入団するとしたら、どのようなことが気になりますか。
以下の中から、あなたが気になるものをすべて選んでください。(いくつでも)

- 1 体力面で火事・災害現場で活動する自信がない
- 2 危険を伴う仕事なので、けがなどが心配である
- 3 消防団の活動に必要な知識がない
- 4 他人の生命・身体・財産へ責任が生じてしまうか不安である
- 5 消防署との役割分担(消防団の活動範囲)がわからない
- 6 火事・災害時の緊急の呼び出しが多そうである
- 7 訓練や会議が多そうである
- 8 仕事・家事・学業と両立できるかわからない
- 9 年齢などの入団条件がわからない
- 10 消防団に知り合いがいない
- 11 地域とつながりがない
- 12 男性の団員が多い
- 13 報酬が少ない
- 14 簡単に退団できるか心配である
- 15 その他(具体的に)
- 16 特になし/わからない

「道路に設置されたベンチ」について、質問します。

Q16

あなたは、道路上(公園や施設内を除く)にベンチが設置されていた場合、どこにベンチがあると利用したいと思いますか。

以下の中から、あてはまるものを**3つまで**選んでください。(3つまで)

- 1 駅前広場(バス停やタクシー乗り場を除く)
- 2 バス停
- 3 タクシー乗り場
- 4 歩道
- 5 生活道路
- 6 交差点
- 7 商店街
- 8 その他(具体的に)
- 9 特にはい
- 10 ベンチを利用しない

Q17

あなたは、どのような時にベンチを利用しますか。

以下の中から、あてはまるものを**すべて**選んでください。(いくつでも)

- 1 散歩中
- 2 日常の買物の途中
- 3 待ち合わせ時
- 4 信号待ち
- 5 公共交通機関の待ち時間
- 6 地域の人と交流をする時
- 7 飲食をする時
- 8 喫煙中
- 9 その他(具体的に)
- 10 ベンチを利用しない
- 11 わからない

「水道に関する手続き・問い合わせ」について、質問します。

Q18

あなたは、水道に関して、どのような方法で手続き・問い合わせをしたことがありますか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

- 1 電話
- 2 インターネット
- 3 水道局または区役所等の窓口
- 4 ファックス
- 5 その他(具体的に)
- 6 手続き・問い合わせをしたことがない/覚えていない

Q19

水道に関する手続き・問い合わせ等で、インターネットでできたら便利だと思うことは何ですか。
以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

- 1 水道料金の支払方法の変更
- 2 使用水量・請求金額の確認
- 3 ペーパーレス請求書の配信 ※
- 4 チャットボット(AIを活用した自動会話プログラム)による問い合わせ/案内
- 5 請求書の再発行手続き
- 6 請求書等の送付先の変更
- 7 水道使用者名(給水契約者名義)の変更
- 8 その他(具体的に)
- 9 特にはいい

※ 紙の請求書が郵送されず、電子メールやスマートフォンアプリによって配信された電子請求書を用いて、コンビニやアプリなどで支払うことができるようにすること

Q20

あなたは、水道局が提供するスマートフォンアプリで、水道の使用水量・請求金額の確認や、水道料金のキャッシュレス決済(「PayPay」等)とのアプリ連携による支払いができるものがあるならば、利用したいと思いますか。

なお、スマートフォンアプリはデータ通信料を除き、無料で利用できるものとします。

- 1 ○ 利用したい
- 2 ○ どちらかという利用したい
- 3 ○ どちらかという利用したくない
- 4 ○ 利用したくない
- 5 ○ わからない

このさいたま市インターネット市民意識調査業務の委託に要する経費は205万円です。